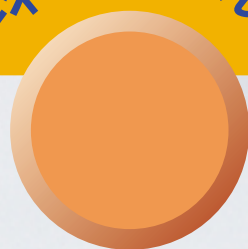
SOTEC

インターネット＆メール入門

インターネットとメールの使い方

インターネットとは？

インターネットに接続する

インターネットエクスプローラの使い方

電子メールの使い方

インターネットのQ&A

このマニュアルの見方

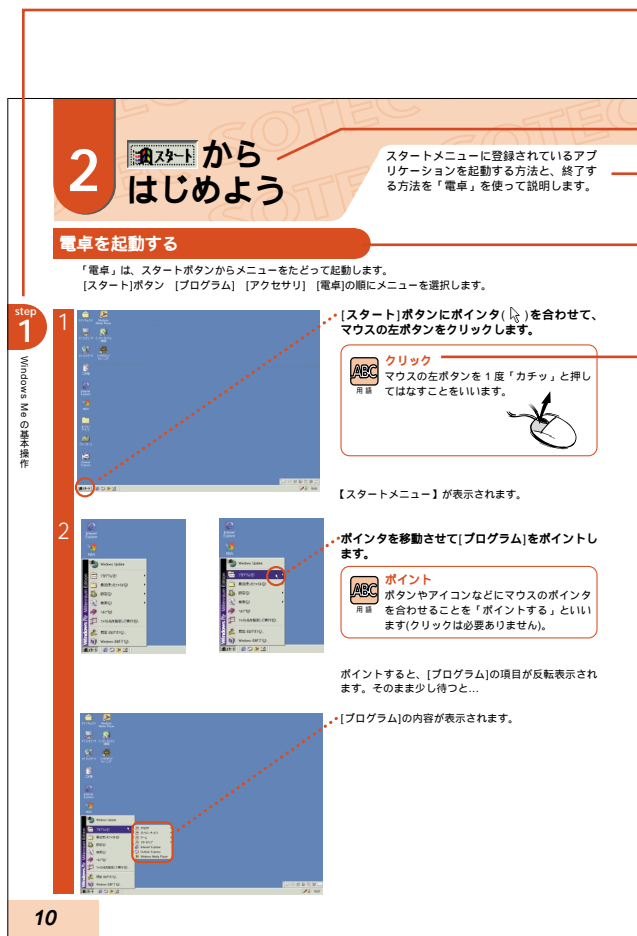
本書は、ソーテック製パソコンでインターネットを初めて利用する方を対象に、インターネットに接続するまでの準備や設定方法、ブラウザソフトや電子メールソフトの基本的な使い方などを、順序立てて説明しています。

なお、ブラウザソフトと電子メールソフトは、Microsoft Windows Meに付属の「Microsoft Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）」と「Microsoft Outlook Express（アウトルックエクスプレス）」を利用します。
Microsoft Windows Meの基本的な操作については、別冊の「Windows Me入門」をご覧ください。
では、本書と共にインターネットの世界をお楽しみください。

・本書の仕様、情報（本製品、ソフトウェアを含む）は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。株式会社ソーテックの許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。

©2000 株式会社ソーテック

・本書で使用されているSOTECのロゴマークは株式会社ソーテックの登録商標です。
・Microsoft、Windows、Outlookは、米国マイクロソフト社の登録商標です。
・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

各ページの構成

このページは、構成の説明用に作成したもので、実際のページとは異なります。

インデックス
各章ごとにくぎられています。

大見出し

この項目の概要

中見出し

補足的な説明や、知っておくと便利なことです。

操作してはいけないこと、または操作するときに注意することです。

さらに高度な使い方について説明します。

知っておいていただきたい用語の意味と読み方です。

●その他の記号

☞参照ページ

その単語の詳細が別ページに紹介、または説明されています。本文とあわせてご覧ください。

目次について

目次はクイックインデックスの役目もはたしています。

2 **マイコンピュータの使い方** p.10

マイコンピュータアイコンの使い方を説明

ファイルのコピー..12
ファイルの移動 ..13
ファイルの削除 ..15

機能のタイトル、およびページ数です。

さらに項目を分けて説明しているときのページ数です。

ここで説明している機能の概要とイメージです。

目　次

Step1 インターネットとは

Step2 インターネットに接続する

目 次

Step4 電子メールの使いかた

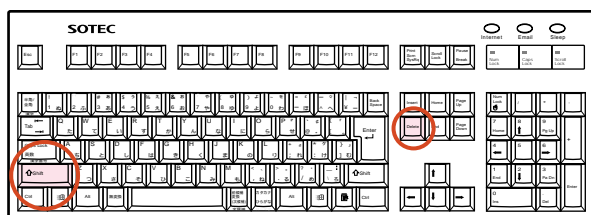
Step5

インターネットの Q&A

操作の表記について

次々とメニューを選択していく動作を本書では「→」を使って省略している箇所があります。
例えば、左画面のように、スタートボタンから電卓までを選ぶ動作を、

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[電卓]

と表記しています。

何かのキーを押しながら、他のキーを押す動作を本書では「+」を使って省略しています。
例えば、左図のように、SHIFT キーを押しながら、DELETE キーを押す動作を、

と表記しています。

また、キーボード上の絵は、次のように簡略化して表現しています。

キー表記とキーボードの対応表

本書の表記	実際のキー
Esc	Esc
Tab	Tab
Ctrl	Ctrl
Shift	⇧Shift
Alt	Alt
Space	
Enter↵	Enter

本書の表記	実際のキー
BackSpace	Back Space
Insert	Insert
Delete	Delete
Home	Home
End	End
↑ ↓ ← →	↑ ↓ ← →
PageUp	Page Up

本書の表記	実際のキー
PageDown	Page Down
F1 F2 •••	F1 F2 •••
変換	前候補 変換 (次候補) 全候補
半角/全角	半角/全角
NumLk	Num Lock
⊞	⊞
▤	▤

Step 1
インターネットとは

あなたのパソコンとインターネットをつないで、最新ニュースを見たり、お店から商品を買ったり、チケットの予約などができます。
ここでは、インターネットの基本的なしくみなどを説明します。

1 インターネットでできること

インターネットでは、Web（ウェブ）ページを通じて世界中のさまざまな情報を自由に見ることができます。また、あなたのパソコンから世界中に情報を発信することもできます。

世界中の情報を手に入れる

Web ページには、次のような情報があります。

ショッピング

Webページを持っている世界中のお店で、時間や距離を気にせず、いつでもどこでも、ショッピングが楽しめます。欲しい商品を探す、注文する、配達してもらうなど、すべてのやり取りが、簡単にインターネットを通じて行えます。

旅行情報

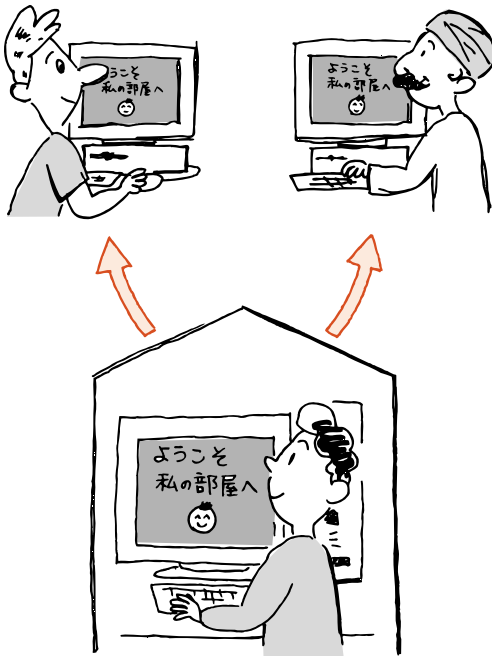
旅行会社や航空会社のWebページでは、国内旅行、海外旅行などの情報を提供しています。交通機関の運行状況や空席情報を照会できるだけでなく、直接、宿泊施設を予約したり、乗車券を購入するなど、自分で旅行の手配も行えます。

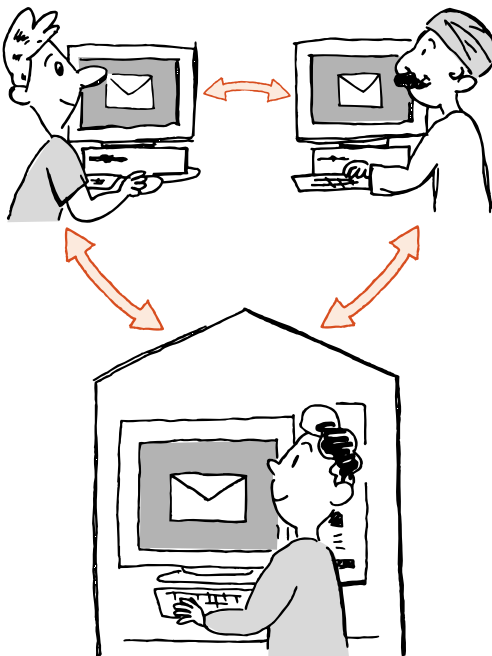
新聞、テレビ、ラジオ

世界中のマスコミやメディアが独自のWebページを提供しています。ニュース番組や新聞記事に対する感想を一般から集めたり、番組や記事の内容を新聞や放送よりも詳しく、インターネット上で公開しています。

インターネットと Web ページ

インターネットとは、世界中のコンピュータのネットワークのことです。つまり、無数のコンピュータをケーブルでつなぎ合わせて、お互いにデータをやり取りしたり、1 つのシステムとして共同作業ができるようになっているものを指しています。
Web ページは、インターネットの情報を文字や写真、動画や音楽などを使って作成したものです。世界中に何百万もの Web ページが存在し、雑誌や新聞、テレビのような感覚で見ることができます。

世界中に情報を発信する

Webページを見るだけでなく、自分のWebページを作って、世界中の人に情報を提供することもできます。インターネットを通じて、自分と同じ趣味を持つ仲間を見つけたり、役に立つ情報を世界中の人に知らせたりなど、あらゆる可能性を秘めています。

電子メールは世界の人々をつなぎます

インターネットにつながったコンピュータどうしで、電子メールのやりとりができます。
お互いの電子メールアドレスを交換すれば、親しい友人や仕事仲間だけでなく、インターネット上で知り合った人にも、電子メールを送ることができます。

電子メール

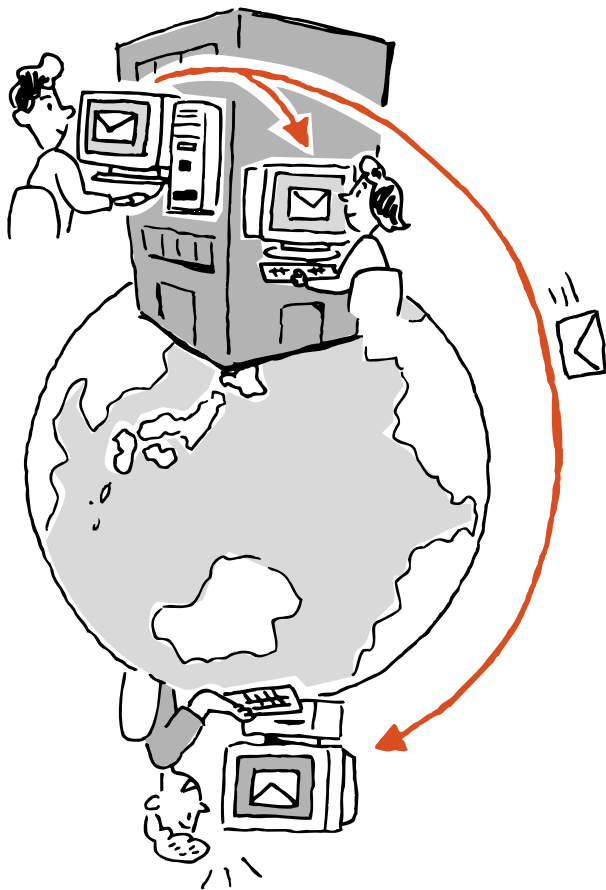
インターネットを通じてやりとりする手紙のことです。電子メールは、「Microsoft Outlook Express」などの電子メールソフト（Windows Meに付属しています。）を使って作成します。従来の郵便を利用する感覚で、郵便よりも安く、世界中のどこにでも数分で届けることができます。
また、電子メールには、画像や文書などを添付して送受信できるので、速くて確実なデータ転送の手段として欠かせないものになっています。

2 電子メールとは

電子メールは手紙や電話、FAXなどの、それぞれの便利さを組み合わせた新しい通信手段です。
電子メールの特長やしくみについて説明します。

電子メールの特長

電子メールには、次のような特長があります。

■低料金で誰にでも送れます

同じ会社の仕事仲間から遠く離れた外国の人まで、インターネットに接続できる人となら、誰とでも気軽に電子メールのやりとりができます。
しかも、電子メールを送る料金は、距離に関係なくアクセスポイントまでの電話料金と、プロバイダへの接続料金だけです。

ABC 用語

プロバイダ

ユーザーが、インターネットに接続するサービスを提供している業者のこと。あなたのパソコンからプロバイダに一般の電話回線（またはISDN（アイエスディーエヌ）回線）を使って電話をかけて、プロバイダにインターネットへつないでもらいます。このサービスに対して支払うお金が、接続サービス料金です。なお、一般の電話回線ではなく、ケーブルTV用の同軸ケーブルや無線LAN技術を使用している業者もあります。プロバイダによって、この料金や利用できるサービスは異なりますので、パソコン雑誌の特集記事などを参考に選んでください。

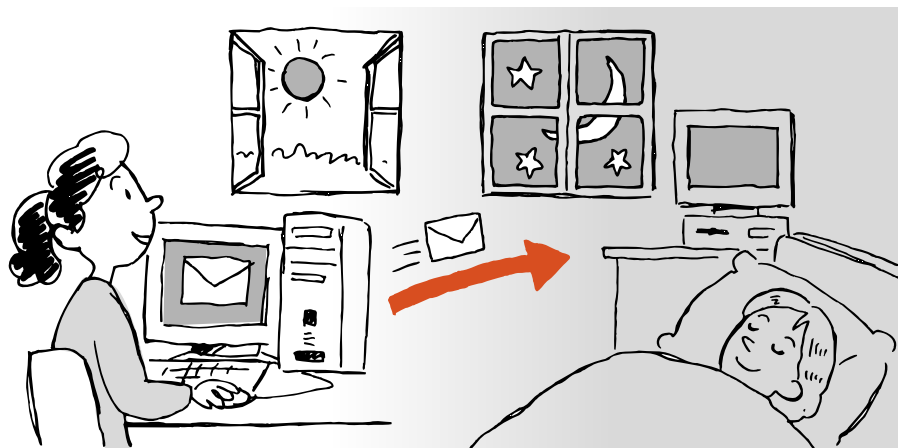
「ISDN回線」14ページ

ABC 用語

アクセスポイント

プロバイダが用意した、インターネットに接続するための接続点をアクセスポイントといいます。
インターネットの接続にかかる料金は、アクセスポイントまでの電話料金と、プロバイダのインターネット接続サービス料金です。
アクセスポイントまでの電話料金は、あなたのパソコンとアクセスポイントまでの距離で決まりますので、できるだけ近くのアクセスポイントを選ぶと電話料金が安くすみます。アクセスポイントが市内にある場合、海外にも市内通話料金で電子メールが送れます。

■いつでも送りたいときに送れます

電子メールは電話のように相手のじゃまをしないので、受け取る相手が仕事中、睡眠中、不在にかかわらずいつでも送ることができます。
送り先のパソコンに電源が入っていなくても、電子メールを送っておくと、相手は好きなときに受け取って読むことができます。

■いつでも読みたいときに読めます

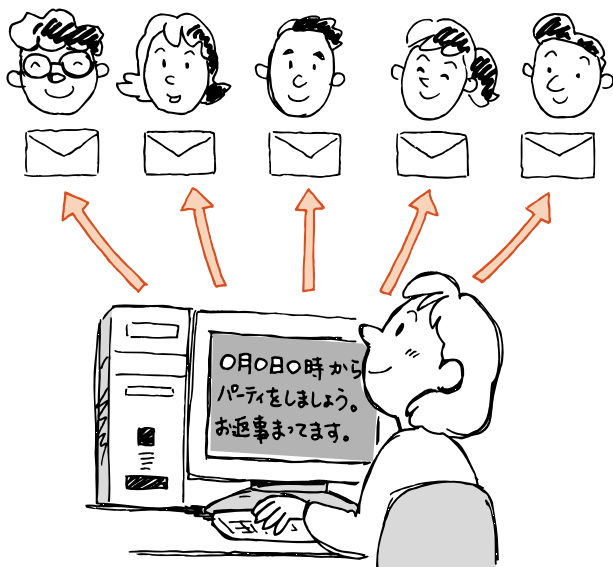
送るときと同じように、いつでも読むことができます。
自分に送られた電子メールは、いったん、契約しているプロバイダの自分の郵便受けにあたるコンピュータに届きます。プロバイダのコンピュータに、自分宛の電子メールが届いているかどうかを見に行って、電子メールが届いていれば、自分のコンピュータに転送して受け取ります。
電子メールを使い始めたら、１日に１回はメールチェックをして、自分宛に電子メールが届いているか確認しましょう。
☞「電子メールを受信する」68 ページ

■簡単に返事を書けます

電子メールをくれた人に、返信機能を使って簡単に返事を書くことができます。
エチケットとして、電子メールをくれた相手には、できるだけ返事を書くようにしましょう。
☞「電子メールを返信する」70 ページ

■送った電子メールや受け取った電子メールは保管できます

送った電子メールは、同時に自分のパソコンにも送信済みの電子メールとして保存されます。また、受け取った電子メールも、読んだ後に保存しておくことができ、いつでも読み返したり、いつまでも保管することができます。電子メールの整理もパソコンなら簡単にできます。
電子メールはプリンタで印刷することもできます。

■ 1 つの電子メールを 1 度にたくさんの相手に送れます

同じ内容の電子メールを、たくさんの相手に同時に送ることができます。
たとえば、ある会議の時間や場所などの情報を、参加者全員に連絡したい場合は、全員の連絡先（電子メールアドレス）を登録した「グループ」という宛先を作成します。
☞「メールアドレスのグループを作成する」
60 ページ

その後で、電子メールを送るときの宛先を「グループ」にすると、その「グループ」に登録されている全員に、同時に電子メールを送ることができます。
また、数ヵ所の宛先であれば、「CC」「BCC」といった機能を使って、同時に電子メールを送ることもできます。
☞『「CC」と「BCC」』63 ページ

■最新のニュースが自動的に送られてきます

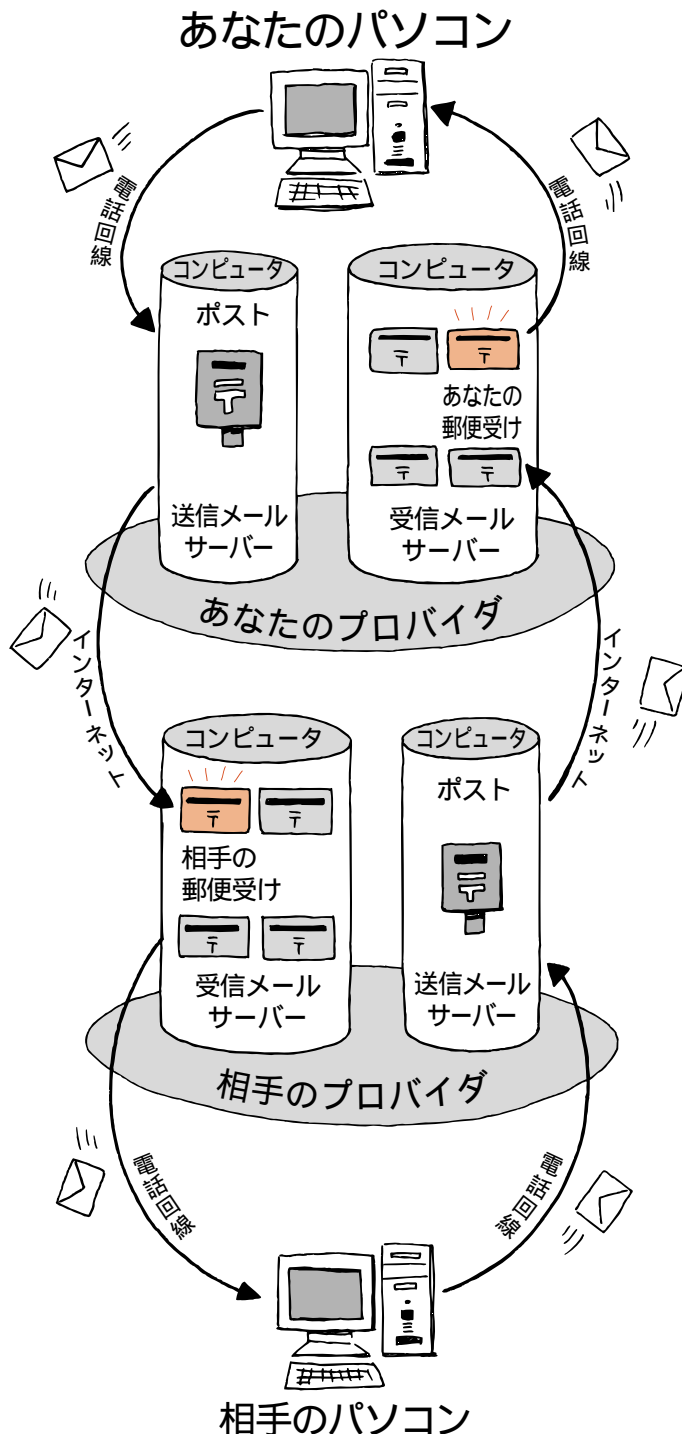
メールニュース配信サービスを利用すると、ビジネス、経済、スポーツ、パソコンなど、あらゆるジャンルの最新情報を定期的に送ってもらうことができます。また、メーリングリストに参加すれば、特定の仲間どうしでの意見や情報交換が電子メールで行なえます。

用語

メーリングリスト

メーリングリストとは、複数の人に同じ電子メールを配送できる仕組みのことで、電子メールの活用法のひとつです。メーリングリストに参加して、ある特定の宛先に電子メールを送ると、その電子メールが、他の参加者全員に配信されます。また、送られてきた電子メールに返信すれば、その電子メールも全員に送られるので、複数のメンバーでの電子メール交換が実現します。これがメーリングリストの最大の特長です。もし、興味のあるテーマで開設されているメーリングリストがあれば、簡単な手続きでメンバーになることもできますし、プロバイダなどが提供しているサービスを利用すれば、自分で開設することもできます。

電子メールのしくみ

インターネットによる電子メールのしくみを簡単に説明します。

電子メールを送る場合

手紙をポストに投かんするときと同じように、あなたの電子メールを、プロバイダの送信（SMTP）メールサーバーというコンピュータまで、電話回線を通じて送ります。
これを「送信」といいます。
送信メールサーバーに届いた電子メールは、プロバイダがインターネット回線で、相手先のプロバイダの受信（POP3）メールサーバーというコンピュータまで届けてくれます。

電子メールを受けとる場合

手紙が家の郵便受けまでしか届かないのと同じよう電子メールもプロバイダの受信メールサーバーに配達されて、保管されています
この電子メールを受け取って読むには、電子メールが届いているかを、受信メールサーバーまで見に行く必要があります。
もし、電子メールが届いていれば、受信メールサーバーを見に行った（プロバイダに接続した）ときに、自動的にパソコンへ転送されます。
このことを「受信」といいます。
郵便の住所（宛先）にあたるものが、電子メールアドレスです。

3 インターネットを始めるには

インターネットを始めるには、パソコンをインターネットにつなぐ必要があります。パソコンとインターネットがどのようにつながれているのか、そのしくみについて説明します。

パソコンをインターネットにつなぐには

■電話回線を利用します

あなたのパソコンからプロバイダに電話をかけるために、パソコンを電話回線に接続します。

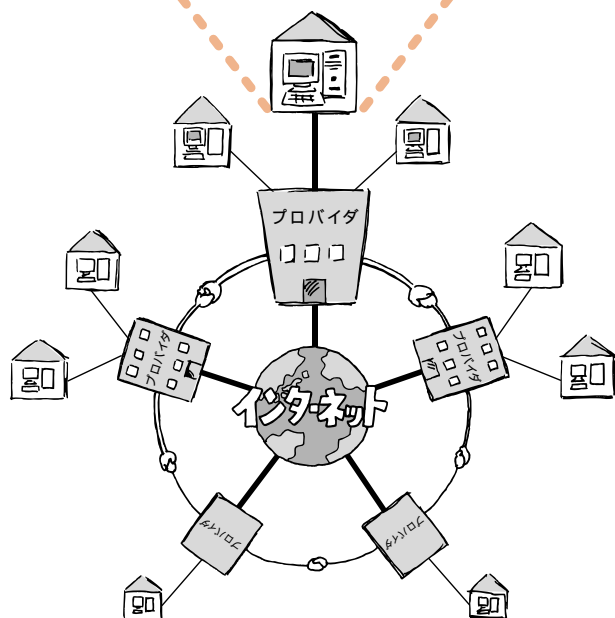
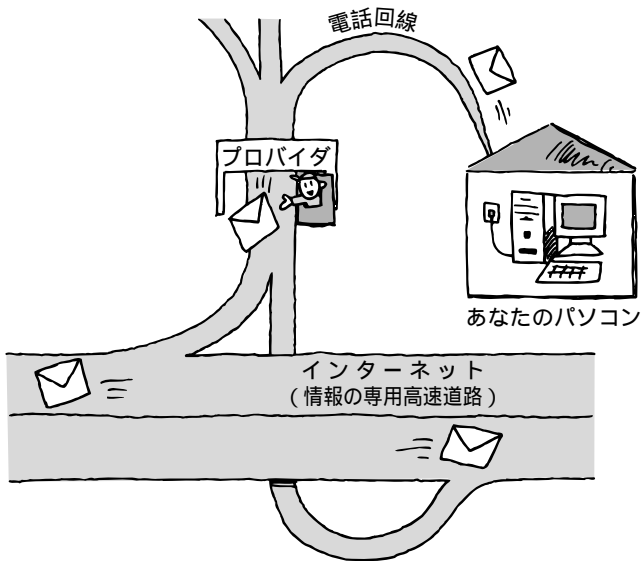
☞「プロバイダの役割について」15 ページ

ISDN 回線

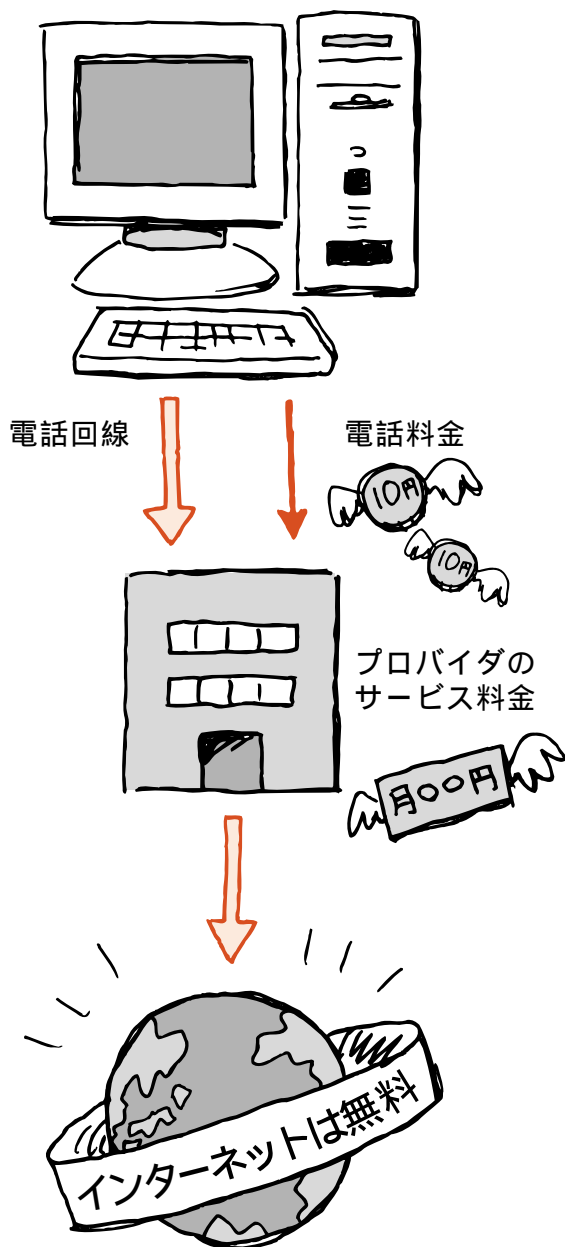
通常の電話回線の他に、ISDN 回線という特殊な回線を使ってプロバイダに接続することもできます。ISDN 回線の通信速度は電話回線よりも速いため、Web ページの画像をすばやく表示できるなどメリットがあります。ISDN 回線を使用するには別途契約が必要になります。ISDN 回線の詳細、お申し込みについては、NTT までお問い合わせください。

■プロバイダのインターネット接続サービスを利用します

あなたのパソコンにモデムでつながっている電話回線とインターネットを、直接つなぐことはできません。プロバイダにあなたのパソコンとインターネットをつなぐ役割をしてもらいます。

☞「プロバイダの役割について」15 ページ

プロバイダの役割について

インターネットを高速道路に置き換えて説明すると、行き交う車が情報で、インターチェンジがプロバイダとなります。
電話回線という一般道路から、インターネットという専用の高速道路に乗り換えるために、プロバイダというインターチェンジにお金を払います。
このように、あなたのパソコンからインターネットを利用するには、プロバイダと契約する必要があります。

Step 2 では、Windows Me にあらかじめ用意されているインターネット接続ウィザードを使ってプロバイダに接続する方法を説明しています。
その他に Windows Me には、「AOL」、「BIGLOBE」、「IIJ4U」、「OCN」、「The Microsoft Network」、「ドリームネット」、「ニフティサーブ」といったプロバイダにオンラインサインアップできる接続ウィザードが用意されていますので、気に入ったプロバイダがあれば利用してください。
☞「オンラインサインアップする」24 ページ

電話料金とプロバイダの接続料金について

インターネットを利用するには、プロバイダのアクセスポイントまでの電話料金と、インターネット接続サービス料金がかかります。
接続サービス料金には、何通りかの料金コースがあります。1ヶ月（または1年）で何時間接続しても一定料金のコース（固定料金制）、接続した時間に応じて料金がきまるコース（従量制）、その両方を組み合わせたコースなどがあります。さらに最近では、無料で接続してくれるプロバイダも登場してきています。（ただし、画面上に企業の広告が表示されます。）
ですが、インターネット自体は無料ですので、世界のどの国のWebページを見ても、どの国へ電子メールを送っても、国際電話のように1分数百円というような高額な料金は必要ありません。

Webページは無料のものだけでなく、中には情報料として、ある一定金額を請求するところもあります。Webページのホームページ（最初に表示されるページ）などを参考に判断してください。

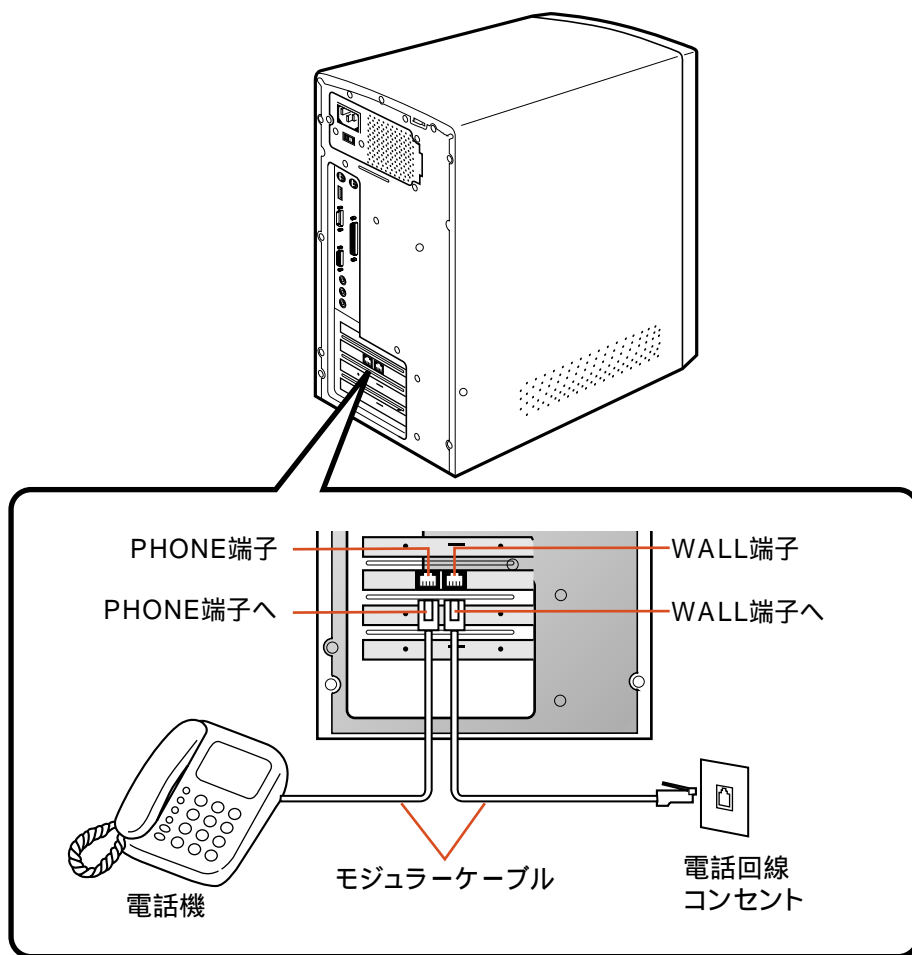
Step2
インターネットに接続する

Step1 では、インターネットでできることや、しくみについて説明しました。この Step 2 では、インターネットを利用するために必要なモデムの設定や、プロバイダへの加入手続きなどの手順について説明しています。これらの準備が終われば、いよいよインターネットに接続して、Web ページをのぞいてみます。興味や趣味に合った Web ページをどんどん見つけて、膨大な情報がひろがるインターネットの世界を楽しみましょう。

1 モデムと電話回線をつなぐ

インターネットにつなぐための準備作業として、最初にパソコンのモデムと電話回線をつなぎます。

タワー型の場合

SOTEC PC STATION シリーズを例に、つなぎかたを説明します。

1 背面の **WALL 端子**と電話回線コンセントを、付属のモジュラーケーブルでつなぎます。

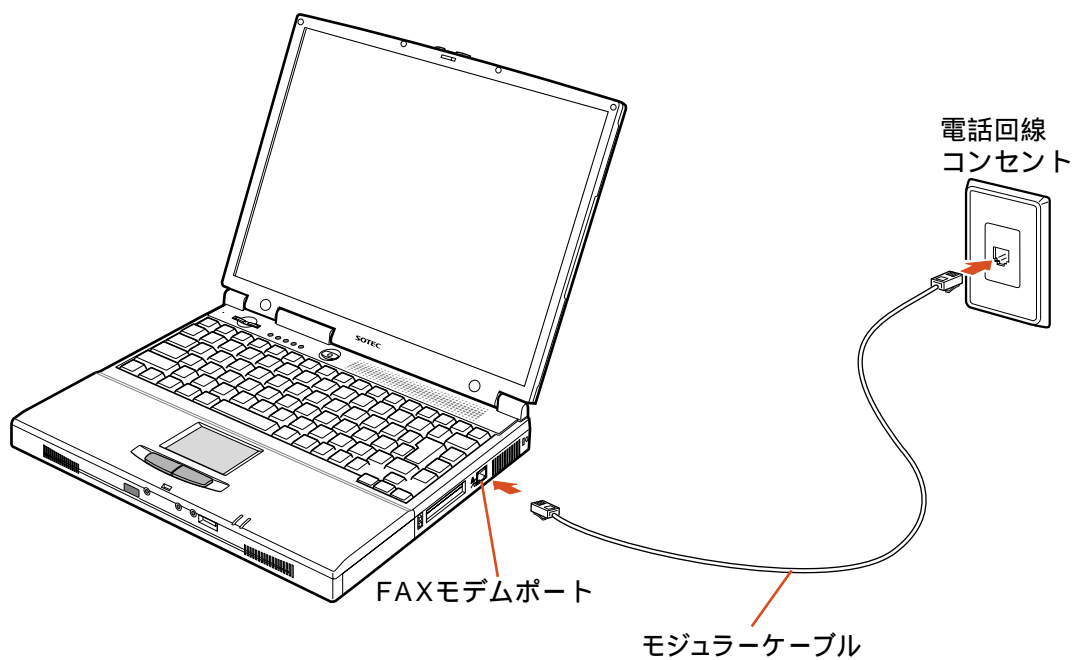
2 **PHONE 端子**と電話機を、モジュラーケーブルでつなぎます。

アドバイス

ISDN 回線の場合

ISDN 回線でインターネットを利用する場合、モデムの代わりにターミナルアダプタ(TA)と DSU が必要です。詳しくは、NTT にお問い合わせください。

ノート型の場合

SOTEC e-note シリーズを例に、つなぎかたを説明します。

1 **側面の FAX モデムポートと電話回線コンセントを、付属のモジュラーケーブルでつなぎます。**

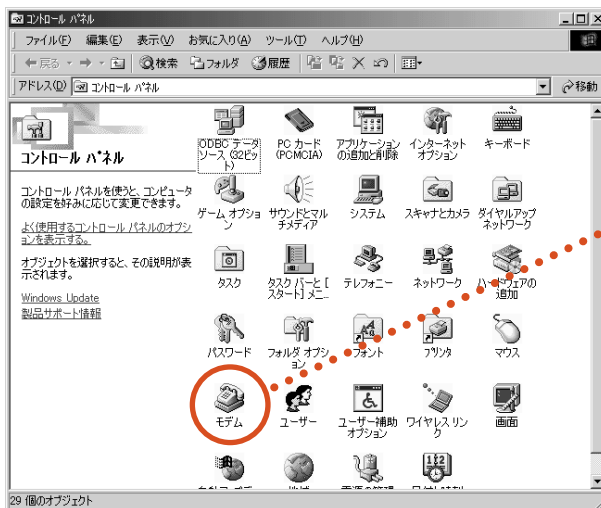
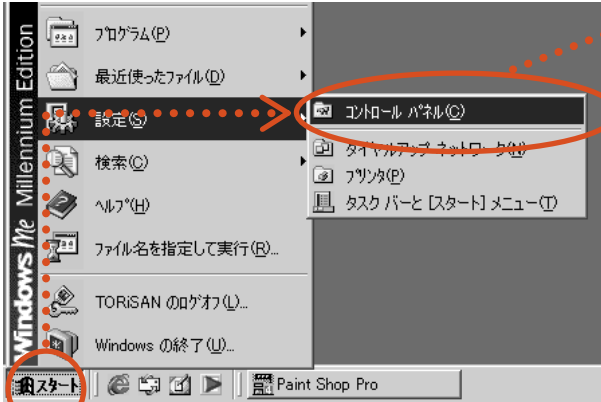
2 モデムを設定する

次にモデムを設定します。

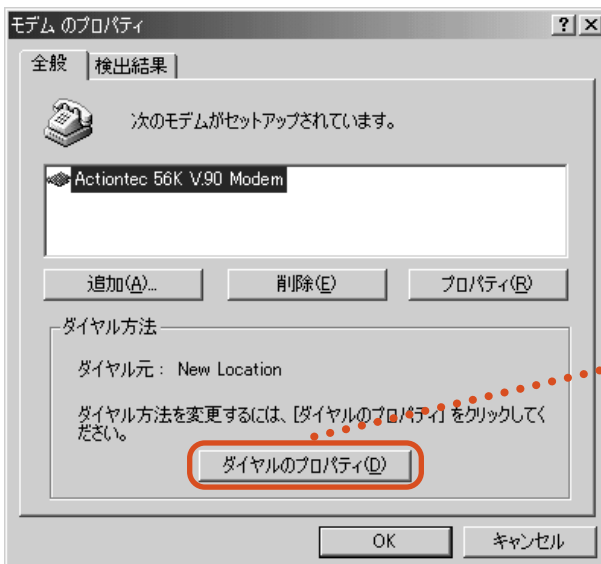
1

[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択します。

【コントロールパネル】ウィンドウが表示されます。

2

※左とは異なる画面が表示されたときは、その画面中の「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると、左と同じ画面になります。

[モデム]をダブルクリックします。

【モデムのプロパティ】ダイアログが表示されます。

3

[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックします。

【ダイヤルのプロパティ】ダイアログが表示されます。

4

ダイヤルのプロパティ

所在地情報

① 登録名(D): 新しい場所 新規(N)... 削除(R)

② 国名/地域(Y): 日本

③ 市外局番(C): 6 市外コード(E)...

所在地からの通話

外線発信番号：

市内通話

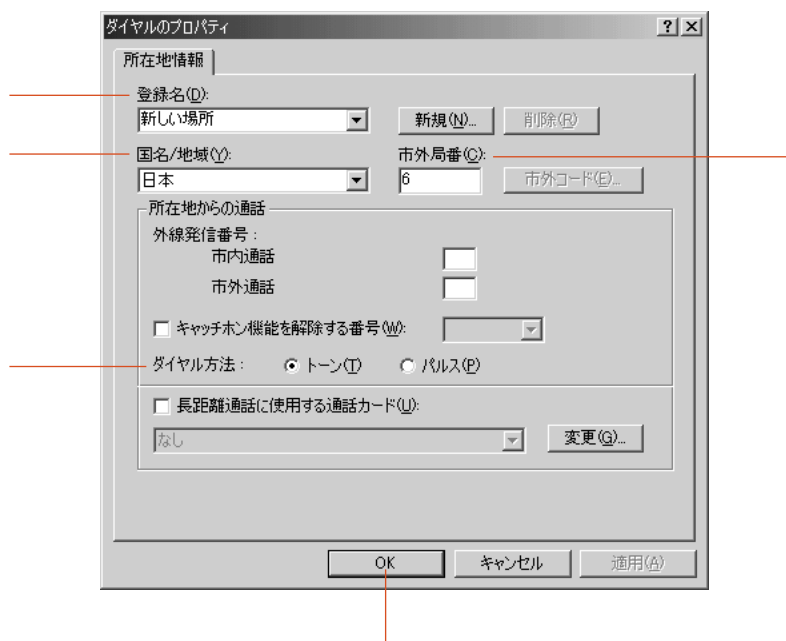
市外通話

キャッチホン機能を解除する番号(W):

④ ダイヤル方法： トーン(T) パルス(P)

長距離通話に使用する通話カード(U):

なし 変更(G)...

⑤ OK キャンセル 適用(A)

① **[登録名]として[新しい場所]と表示されています。特に変更する必要はありません。**

② **[国名/地域]が[日本]になっていることを確認します。**
間違っているときは▼をクリックして、[日本]を選択してください。

③ **[市外局番]には、このパソコンを設置(使用)する場所の市外局番を入力します。**
先頭の[0]は省略できます。例えば東京なら[3]だけを入力します。

④ **[ダイヤル方法]を指定します。**
お使いの電話回線がプッシュ回線なら[トーン]、ダイヤル回線なら[パルス]を選択します。

アドバイス

ダイヤル方法について

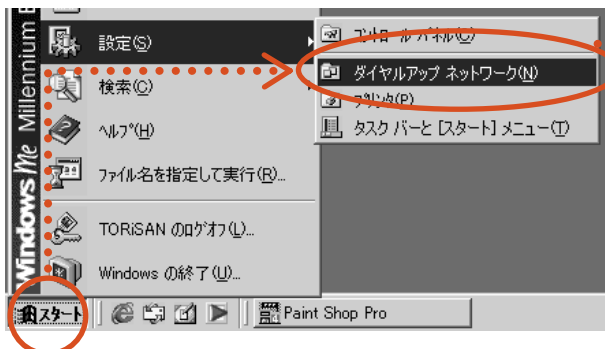
ダイヤル方法には、トーン方式とパルス方式があります。トーンがプッシュ回線で、パルスがダイヤル回線です。電話機にプッシュボタンが付いていても、回線はダイヤル方式になっていることがあります。お使いの回線がどちらか不明の場合は、NTT にお問い合わせください。

⑤ **最後に[OK]ボタンをクリックします。**
【モデムのプロパティ】ダイアログに戻ります。その[OK]ボタンをクリックすると、モデムの設定が終了します。

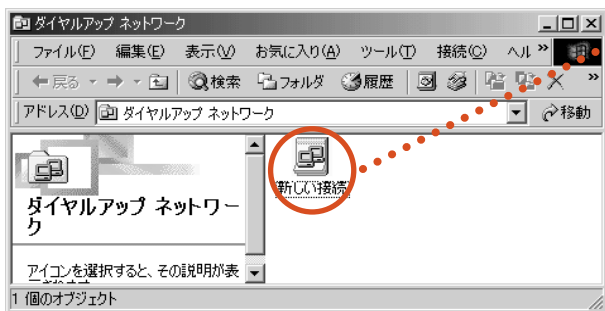
3 プロバイダの情報を設定する

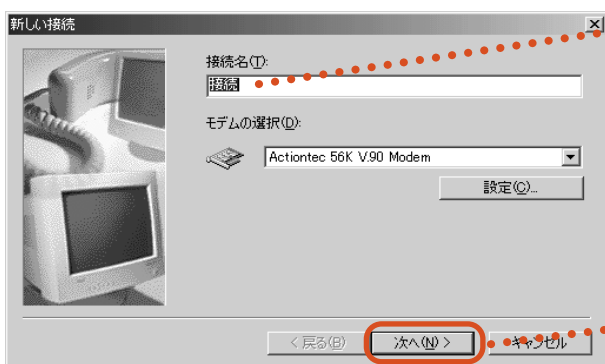
モデムを設定したら、次にプロバイダの情報を設定します。

すでにプロバイダに加入している場合は、プロバイダから教えられたアクセスポイントの電話番号などの情報(普通は書類が郵送されてきます)を登録します。まだどのプロバイダにも加入していない場合は、オンラインサインアップという方法で、加入申し込み手続きがその場でできます。どのプロバイダを選ぶかは、パソコン雑誌の特集記事などを参考にして決めてください。☞「オンラインサインアップする」24 ページ

1

[スタート]ボタン→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]の順に選択します。

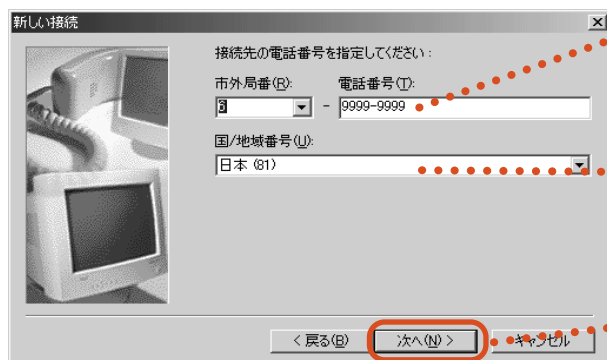
【ダイヤルアップネットワーク】ウィンドウが表示されます。

2

[新しい接続]をダブルクリックします。

3

[接続名]を入力します。

プロバイダの名前を入力するとよいでしょう。例えば「JustNet」などです。

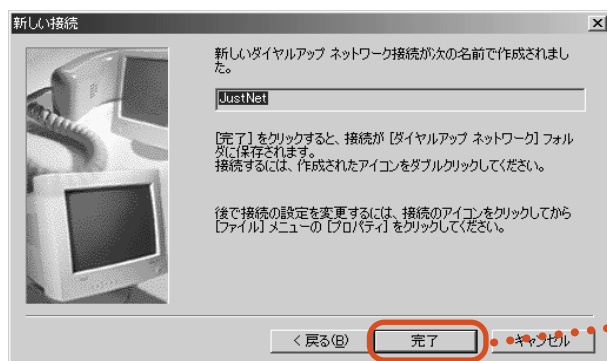
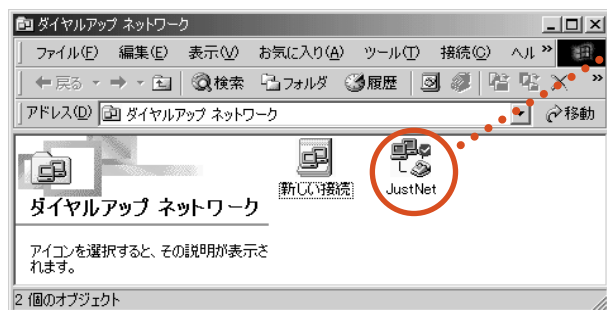
[次へ]ボタンをクリックします。

4

アクセスポイントの電話番号を入力します。
市外局番は、「モデムを設定する」手順４の③で入力した番号にあわせます。☞21ページ

[国/地域番号]が[日本(81)]になっているかどうかを確認します。違っていたら をクリックして、[日本(81)]を選択してください。

[次へ]ボタンをクリックします。

アクセスポイントを選ぶには
アドバイス
加入しているプロバイダのアクセスポイント一覧を確認して、発信元（あなた）の市外局番と同じ番号を選んでください。同じ番号が無い場合は、なるべく近い市外局番を選びましょう。電話料金が安くなります。自分の市外局番と同じアクセスポイントがあるかということも、プロバイダ選びのポイントです。
同じ市外局番でも、通信規格と通信速度で区別されていることがあります。そのときはV.90の56Kbpsと表示されている電話番号を選択します。

5

[完了]ボタンをクリックします。

[JustNet]という名前のアイコンができました。

これでインターネットにつなぐための準備が整いました。次に実際にインターネットにつないでみましょう。「インターネットエクスプローラを起動する」に進んでください。☞28ページ

4 オンラインサインアップする

オンラインサインアップという方法でプロバイダに加入手続きができます。

「オンラインサインアップ」とは、インターネットに接続した状態（オンライン）で、加入の申し込み（サインアップ）をすることです。オンラインサインアップを始める方法は、主に3通りあります。

方法①：デスクトップ上の[オンラインサービス]フォルダから選択する
方法②：パソコン雑誌の付録や、プロバイダが独自に用意しているCD-ROMを使用する
方法③：デスクトップ上の[インターネットに接続]をダブルクリックする

ここでは、「方法③：デスクトップ上の[インターネットに接続]をダブルクリックする」で説明します。

アドバイス

オンラインサインアップを始める前に、次のことを準備しておいてください

①クレジットカード

ほとんどのプロバイダでは、自分名義のクレジットカードを持っていることを前提に、オンラインサインアップを受け付けますので、カードまたはその番号を記入したメモを用意します。使用できるクレジットカードは、プロバイダによって異なります。なお、少数ですが、クレジットカードを持っていなくてもオンラインサインアップを受け付けてくれるプロバイダもあります。

②ログイン名・パスワード・電子メールアドレス

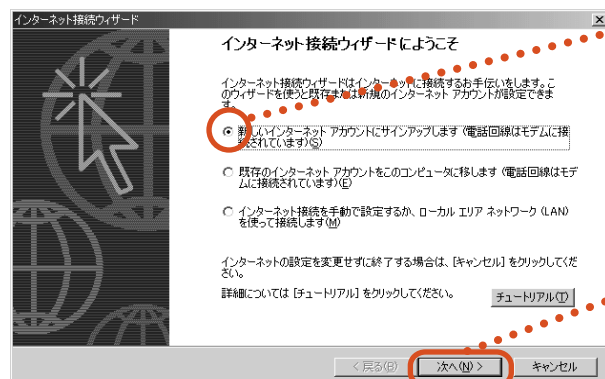
ログイン名　　　　：ペンネームのようなもので、今後インターネットに接続する際のあなたの名前となります。
パスワード　　　　：本人であることを確認する暗号です。忘れにくく、他の人にはわかりにくいパスワードにします。
電子メールアドレス：電子メールを送受信するときのあなたの「住所・宛先」です。

以上の3点については、プロバイダによって使用できる文字数や文字の種類が異なります。一般に、漢字やカタカナは使用できません。アルファベットと数字を組み合わせて作ります。また、すでに他の人が同じ「ログイン名」で登録していることもありますので、候補をいくつか考えておきましょう。

1

デスクトップ上の[インターネットに接続]をダブルクリックします。

[インターネット接続ウィザード]が表示されます。

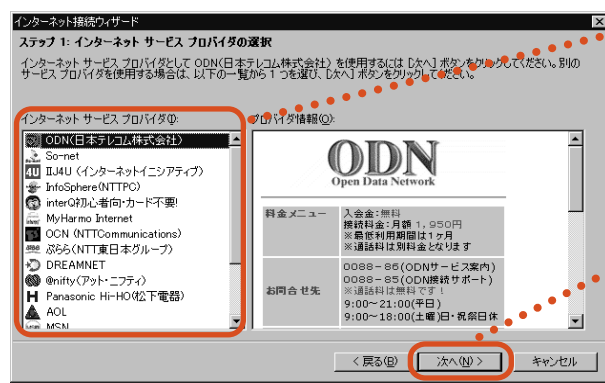
2

「新しいインターネットアカウントにサインアップします」を選択します。

[次へ]ボタンをクリックします。

モデムが電話をかけます。

3

発信元（あなた）の地域で利用できるプロバイダの情報が読み込まれ、終了すると一覧が表示されます。（ここでいったん電話が切れます）

4

加入するプロバイダを選択します。

ここには、選択したプロバイダの詳細な情報が表示されます。
クレジットカードなしでもOKかどうかも確認できます。

[次へ]ボタンをクリックします。

モデムが電話をかけます。

掲載されている画面は、実際とは異なることがあります。

5

住所や氏名などの個人情報を入力します。

[次へ]ボタンをクリックします。

6

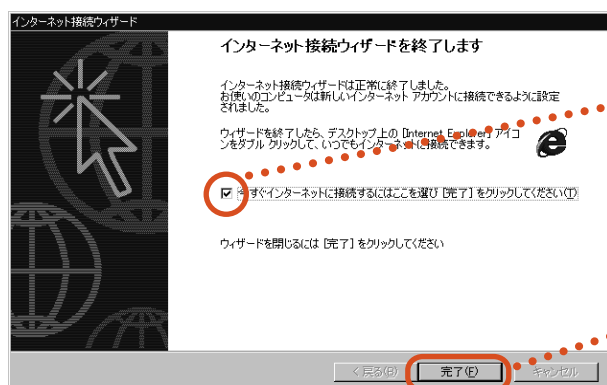
利用条件などを選択します。

この後の操作はプロバイダによって異なりますが、アクセスポイントの電話番号や電子メールアドレスなどを設定します。

オンラインサインアップを途中で止めたいときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

前の画面に戻ってやりなおしたいときは、[戻る]ボタンをクリックします。

入力した情報が正しくプロバイダ側で受信されると、あなた専用のユーザー ID（アカウント）とパスワードが発行され、画面に表示されます。（これが正式なものか、それとも仮のものなのかは、プロバイダによって異なります。）この情報は必ずメモしておいてください。

7

今すぐインターネットに接続したいときは、このボックスをチェックします。

[完了]ボタンをクリックします。

上記のボックスをチェックしたときは、ただちにインターネットエクスプローラが起動します。チェックしなかったときは、ウィザードが終了しますので、デスクトップ上の[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックします。

その後の操作については、「見たいページへ移動する」を参照してください。☞32 ページ

アドバイス

デスクトップ上のアイコンを使う

デスクトップ上の 2 つのアイコンをダブルクリックして、オンラインサインアップを始めることもできます。後は、画面の指示に従って操作してください。

[ODNの場合]

ODNオンラインサインアップ

ダブルクリック

[JustNetの場合]

SOTEC-Ju... 一発接続

ダブルクリック

5 インターネットエクスプローラを起動する

ここではインターネットエクスプローラを使用してWebページを見るための基本的な操作について説明します。

1

デスクトップ上の[Internet Explorer]をダブルクリックします。

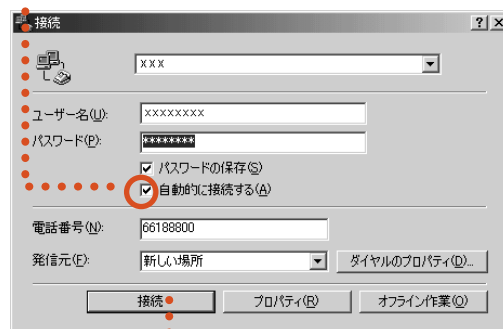
インターネットエクスプローラが起動すると同時に自動的にプロバイダへ電話をかけ始めます。

正しく接続できると、左のような画面が表示されます。初期設定ではSOTECのWebサイトが表示されます。

アドバイス

下の画面が表示されたら

プロバイダから与えられた「ユーザー名」と「パスワード」(オンラインサインアップ後にただちにインターネットエクスプローラを起動した場合は、画面に表示された「ユーザー名」と「パスワード」)を入力します。

ここをチェックすると、インターネットエクスプローラを起動すると同時に自動的にプロバイダへ電話をかけ始めます。

ここをクリックします。

インターネットエクスプローラを起動したときに最初に表示されるページ(「ホームページ」といいますが、Webサイトの「ホームページ」と区別するため「スタートページ」とも呼びます。このマニュアルではスタートページと呼ぶことにします)は、【インターネットオプション】ウィンドウで変更できます。

用 語

Webサイト

Webページの集まり全体のこと。サイトはもともと「場所」という意味。Webサイトを訪れたときに最初に表示されるページを、そのサイトの「ホームページ」と呼びます。

接続状況を確認する

接続状況は、次のようにして確認できます。

（接続インジケータ）が表示されているときは、インターネットに接続されています。この状態では、アクセスポイントまでの電話料金がかかっています。実際の通信中は、水色に点滅します。（インターネットに接続していても、回線が混雑していて実際の通信が一時中断しているときは、点滅しません。）

またこのインジケータをダブルクリックすると、下の画面が表示されます。

今までの接続時間が表示されます。

[OK]ボタンをクリックすると、このダイアログが閉じます。（接続は切断されません。）

[切断]ボタンをクリックすると、接続が切断されます。

6 インターネットエクスプローラの画面

インターネットエクスプローラの画面構成を説明します。

メニューバー
利用できる機能やコマンド（命令）が並んでいます。

ツールバー
特によく使う機能やコマンドが並んでいます。

アドレスバー
Webサイトのアドレスが表示されます。ここに見たいWebサイトのアドレスを入力して、そのページを表示させます。

この境界線をドラッグして左右に動かすと、表示できる範囲を変えられます。

ステータスバー
Webページの読み込み状況（ステータス）などがここに表示されます。

[最小化]ボタン
インターネットエクスプローラの画面を最小化して、タスクバーに収めます。

[元のサイズに戻す]ボタン
ウィンドウの大きさを元に戻します。

[閉じる]ボタン
インターネットエクスプローラを終了します。

インターネットに接続中は、地球のアイコンが回転します。

スクロールバー
このバーをドラッグして上下に動かすと、画面の表示内容もそれにあわせて上下に移動します。

7 見たいページへ移動する

ここでは見たいページへ移動するための方法を説明します。

アドレスを指定する

見たいページのアドレス(URL)を直接入力すると、そのページが表示されます。ここでは例として、ソーテックのホームページに移動してみます。

1

[アドレス入力]欄をクリックします。
アドレスが青色に反転表示されます。

2

アドレスを入力し、最後にEnterを押します。

目的のページが表示されます。

「ページを表示できません」と表示されたときは、アドレスが間違っていたのかもしれません。もう一度確認して、入力しなおしてください。

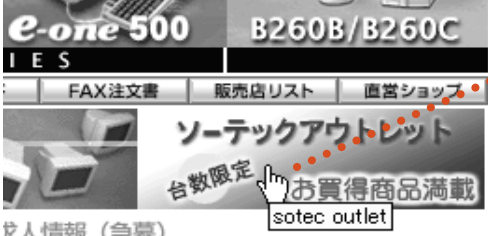
注意

アドレス(URL)は半角の英数字(小文字)で入力してください。

用語

アドレス(URL)とは
Webページのある場所を示す所在地のようなものです。電子メールアドレスとは別物で、Uniform Resource Locatorを略してURLと呼ばれています。
オートコンプリートとは
アドレスを数文字入力すると、同じ文字列を持つ過去に表示したWebページのアドレスを自動的に表示する機能です。今回も同じアドレスを入力する場合は、表示された一覧から選ぶと、キーボードで入力する手間が省けます。
オートコンプリートによってアドレスの候補が表示されても、そのまま入力しつづけると、候補は無視できます。

アドバイス

[~]を入力するには
[~]は「チルダ」と読みます。チルダを入力するには、Shiftキーを押しながら、ひらがなの「へ」キーを押します。

ハイパーリンクをクリックする

Webページ上では、他のページにジャンプして、表示できるようになっている部分があります。これをハイパーリンクといいます。ハイパーリンクをクリックすると、リンク先のページにすばやく移動できます。ハイパーリンク部分にマウスポインタを合わせると、ポインタの形が から に変わります。

1

見たい内容にポインタをあわせて、クリックします。

左の例では、「ソーテック　アウトレット」(お買い得製品の情報があるページ)に移動することにします。

「ソーテック　アウトレット」のページが表示されます。

アドバイス

ハイパーリンクのいろいろ

ハイパーリンクは通常、青色の文字で下線がついていますが、下のような場合もあります。

- **黒い文字のまま**
- **写真やイラスト**

少し勉強

Webページの文字が正しく表示されないときは、[表示]→[エンコード]→[日本語(自動判別)]を選択してください。

このほかにも、次のような移動方法があります。具体的な操作方法は、それぞれの参照先をご覧ください。

- ツールバー上の[戻る][進む]ボタンをクリックする。☞「ツールバーの基本操作」34ページ
- [お気に入り]を利用する。☞『「お気に入り」の使い方』42ページ
- [履歴]を利用する。☞「履歴をたどって移動する」49ページ

8 ツールバーの基本操作

ここでは、ツールバーの使いかたについて説明します。

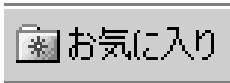
1 つ前に見たページに戻ります。繰り返しクリックすると、スタートページに戻ります。▼をクリックして表示されるドロップダウンメニューから選択して、一度に戻ることもできます。

[戻る]ボタンで戻った後にこのボタンをクリックすると、[戻る]ボタンをクリックする前に見ていたページに戻ります。[戻る]ボタンと同じように、▼をクリックするとメニューが表示され、ページを選択して一度に移動できます。

通信途中に、読込を中止します。電話回線が混雑しているときや、画像がたくさん置いてあるページを表示しようとすると時間がかかることがあります。そのようなときにこのボタンを使用します。

[アドレス入力]欄に入力されているアドレスのページを読み込み直します。[中止]ボタンで読込を中止したページを再度読み込んだり、最新の Web ページを見るときにクリックします。以前見たページの内容は、そのページが要求されたときにできるだけすばやく表示するために、ハードディスクに保存されています。つまり、画面に表示されているのは、以前見た状態のページのままかもしれないということです。このボタンをクリックすると、実際にその Web ページにアクセスして、最新のページを表示してくれます。

インターネットエクスプローラを起動したときに最初に表示されるページ(スタートページ)に戻ります。

知りたい情報がある Web サイトを探してくれます。

よく見る Web ページのアドレスを登録しておくと、毎回アドレスを入力しなくても、簡単にそのページにアクセスできます。
☞『「お気に入り」の使いかた』42 ページ

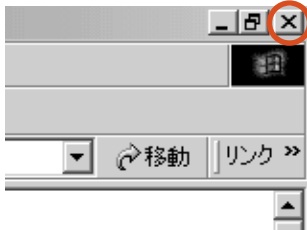
これまでにアクセスした Web ページの記録をたどって、簡単にそのページにアクセスできます。
☞「履歴をたどって移動する」49 ページ

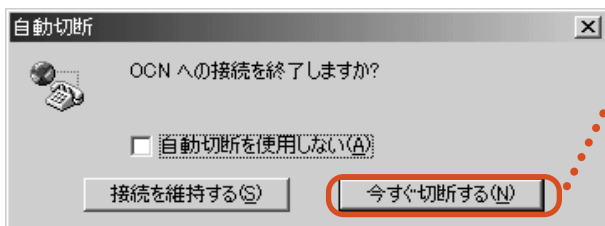
電子メールを利用したいときに、ここをクリックします。
☞「Step 4 電子メールの使いかた」51 ページ

表示しているページを印刷します。
☞「ページの内容を印刷する」48 ページ

9 インターネットへの接続を終了する

ネットサーフィンが終了したら、接続を切断します。

1

[閉じる]ボタンをクリックします。
【自動切断】ダイアログが表示されます。

2

[今すぐ切断する]ボタンをクリックします。
接続が切断されます。

今すぐ自動切断を行わず、後から手動で接続を切断したいときは、[自動切断を使用しない]をチェックします。

ネットサーフィン
Webブラウザを使って、あちこちのWebサイトを見に行くこと。

Step 3

インターネットエクスプローラの便利な使いかた

Step 2 ではインターネットエクスプローラの使いかたに少し触れましたが、ここではインターネットエクスプローラをもっと便利に使えるよう、詳しく説明しています。
なお、Step 3 ではプロバイダへの加入手続きが終了していることを前提としています。プロバイダへのダイヤルアップ接続に必要な「ユーザーID」や「パスワード」を確認してください。

1 オプションを設定する

使いやすいように、インターネットエクスプローラの設定を変更します。

【インターネットオプション】ダイアログの呼び出しかた

1

[ツール]→[インターネットオプション]の順に選択します。

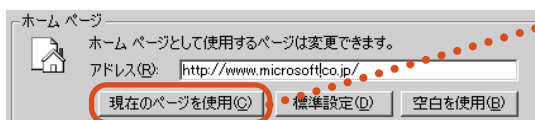
【インターネットオプション】ダイアログが表示されます。

2

設定したいタブをクリックします。
初期設定では、[全般]タブの画面が手前に表示されています。

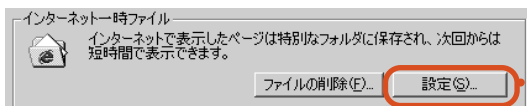
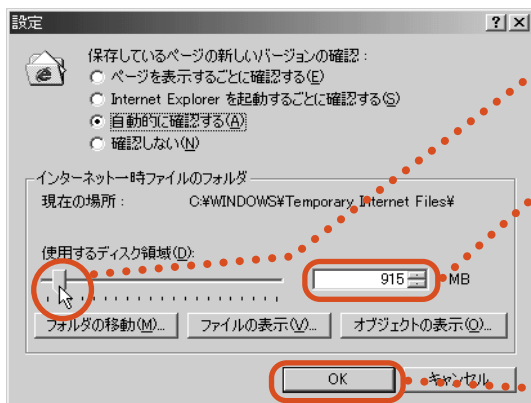
スタートページを変更する

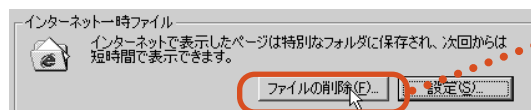
[全般]タブをクリックします。

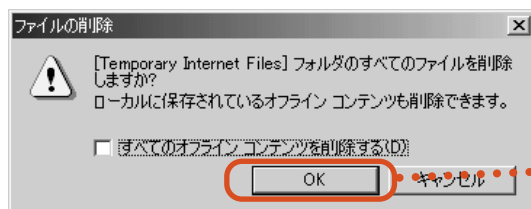
スタートページにしたいWebページのアドレスを直接入力します。

現在表示しているWebページをスタートページにしたいときは、このボタンをクリックします。(こちらの方法のほうが簡単です。)

ハードディスクの空き容量を増やす

アクセスしたページの内容は、インタネット一時ファイルとしてハードディスクに保存されています。このファイルが増えすぎると、Webページの表示が遅くなるので、こまめに整理しましょう。

1 **[全般]タブをクリックします。**

2 **[設定]ボタンをクリックします。**
【設定】ダイアログが表示されます。

3 **[使用するディスク領域]欄のスライダをドラッグして、割り当てるハードディスクの容量を指定します。**
数値は右側に表示されます。なおどのくらいが最適なのかは、お使いのパソコンの処理速度やハードディスクの空き容量によって異なりますので、いろいろと試してみてください。

[OK]ボタンをクリックします。

4 **[ファイルの削除]ボタンをクリックします。**
【ファイルの削除】ダイアログが表示されます。

5

[OK]ボタンをクリックします。

step 3 インターネットエクスプローラの便利な使いかた

2 Webページのデータを利用する

ここでは、見ているWebページのデータを利用する方法について説明します。

画像を保存する

Webページ上の気に入った画像を画像ファイルとして保存したり、デスクトップの壁紙にしたりできます。

1

保存したい画像の上で右クリックし、［名前をつけて画像を保存］をクリックします。

【画像の保存】ダイアログが表示されます。

2

保存先を指定します。
変更する必要がなければ、そのままにしておきます。

ファイルに名前をつけます。
変更する必要がなければ、そのままにしておきます。

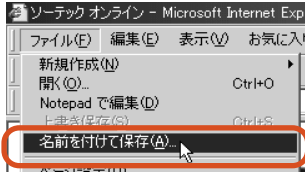
[保存]ボタンをクリックします。
画像が保存されます。

気に入った画像を壁紙にする

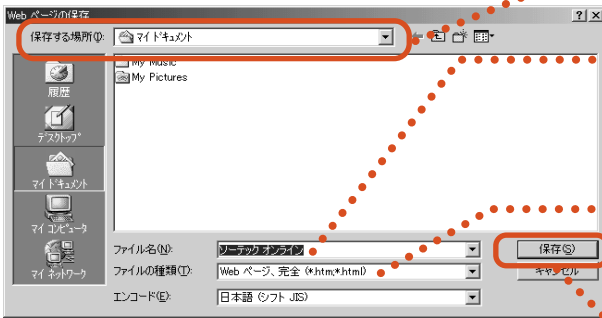
壁紙にしたい画像の上で右クリックし、[壁紙に設定]をクリックします。
インターネットエクスプローラを最小化すると、壁紙が変更されていることがわかります。

ページ全体を保存する

ページ全体をまるごと保存するには、次のようにします。

1

メニューバーの[ファイル]→[名前を付けて保存]の順に選択します。

【Webページの保存】ダイアログが表示されます。

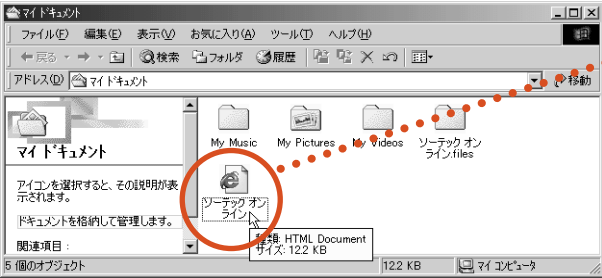
2

保存先を指定します。
変更する必要がなければ、そのままにしておきます。

ファイルに名前をつけます。

変更する必要がなければ、そのままにしておきます。

[ファイルの種類]は、とくに変更する必要はありません。文字だけ保存したいときは、[テキストファイル]を選択します。

[保存]ボタンをクリックします。

ページが保存されます。

保存したページを後から見るには、保存したフォルダ中のそのページのアイコンをダブルクリックします。

少し勉強

テキスト(文字列)を保存する

①保存したいテキスト(文字列)をドラッグし、右クリックします。

②ショートカットメニューの[コピー]をクリックします。
③ Wordやメモ帳などのワープロソフト・テキストエディタに貼りつけて保存します。

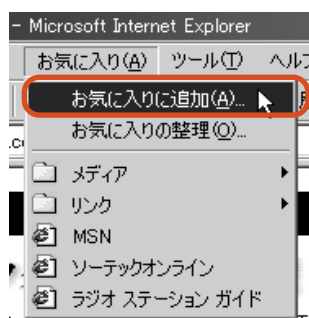
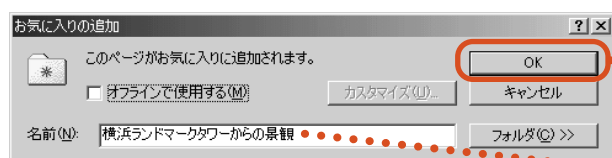
step 3 インターネットエクスプローラの便利な使いかた

3 「お気に入り」の使いかた

ここでは、「お気に入り」の使いかたについて説明します。

「お気に入り」に追加する

インターネットでWebページを見るときに、毎回アドレスを入力するのは大変面倒です。このようなときは、「お気に入り」を利用して、そのページを簡単に登録できます。次回からは、その登録されたページの一覧から選ぶだけで、そのページを見ることができます。

1 **「お気に入り」に登録したいページを表示します。**

2 **[お気に入り]→[お気に入りに追加]の順に選択します。**
【お気に入りの追加】ダイアログが表示されます。

3 **[OK]ボタンをクリックします。**

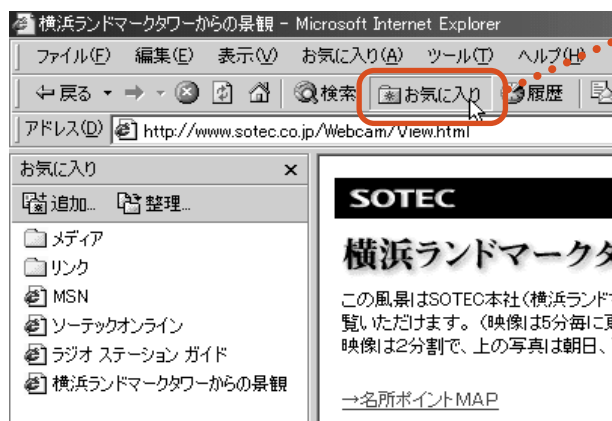
「お気に入り」に登録されます。

登録する名前は、ここで自由に変更できます。

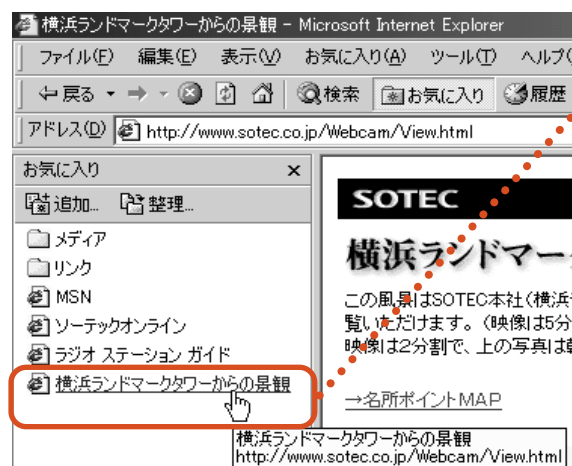
step 3 インターネットエクスプローラの便利な使いかた

「お気に入り」のページを見る

1

[お気に入り]ボタンをクリックします。
画面左端に登録済みの「お気に入り」の一覧が表示されます。

2

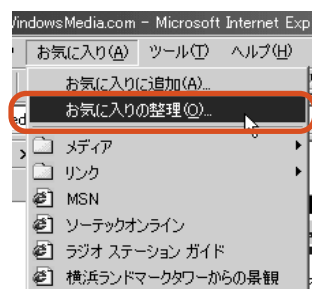
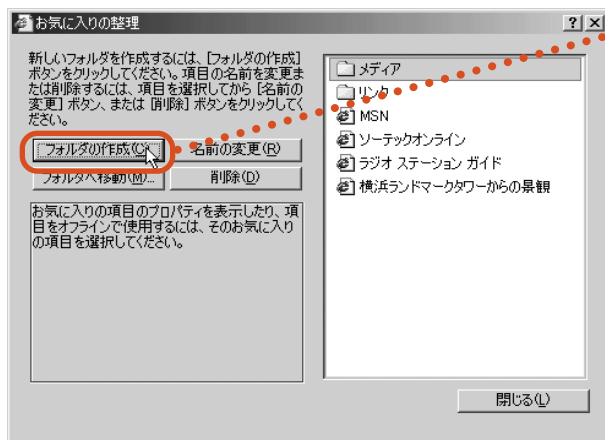
見たいページをクリックします。

そのページが表示されます。

「お気に入り」を整理する

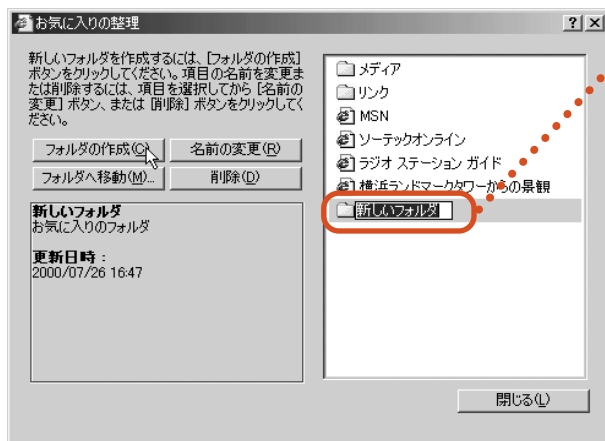
登録した「お気に入り」が増えてきたときは、関連するページをまとめたり、名前を変更して整理します。

■「お気に入り」をフォルダにまとめる

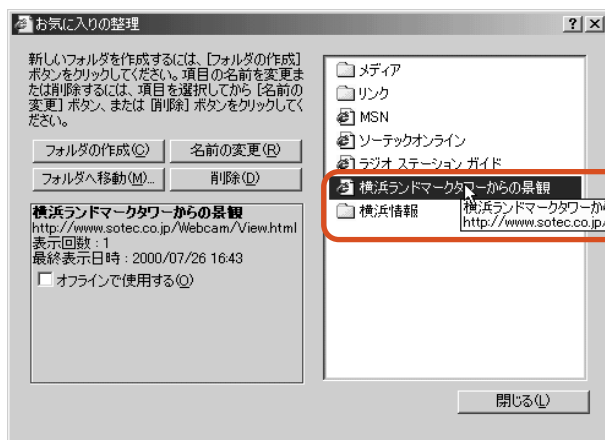
1

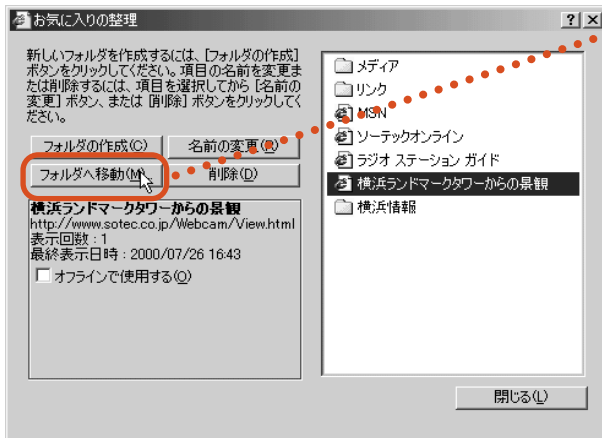
[お気に入り]→[お気に入りの整理]の順に選択します。
【お気に入りの整理】ダイアログが表示されます。

2

[フォルダの作成]ボタンをクリックします。

新しいフォルダが作成されます。

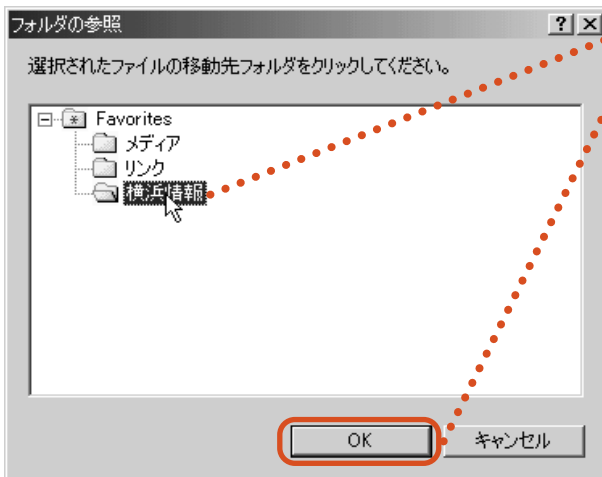
3

名前を入力します。

ここでは「横浜情報」という名前をつけました。

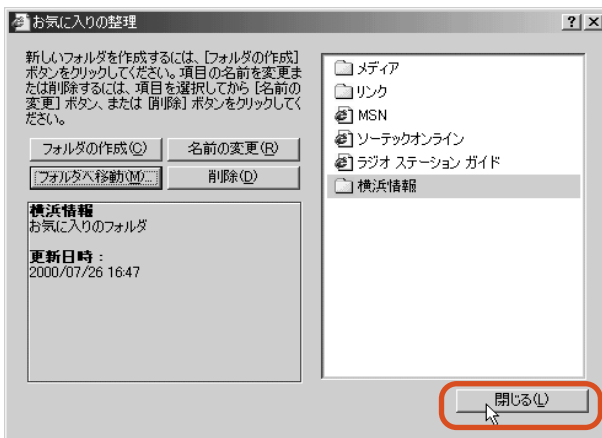
4

移動する「お気に入り」を選択します。

5

[フォルダへ移動]ボタンをクリックします。

【フォルダの参照】ダイアログが表示されます。

6

移動先のフォルダを選択して[OK]ボタンをクリックします。

[お気に入りの整理]の画面に戻ります。

7

[閉じる]ボタンをクリックします。

「お気に入り」が移動します。

名前を変更するには

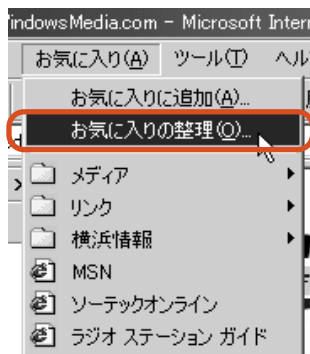
「お気に入り」やそのフォルダの名前を変更するには、次のようにします。

① 名前を変更する「お気に入り」やそのフォルダをクリックします。
② [名前の変更]ボタンをクリックします。
③ 新しい名前を入力して、Enter キーを押します。

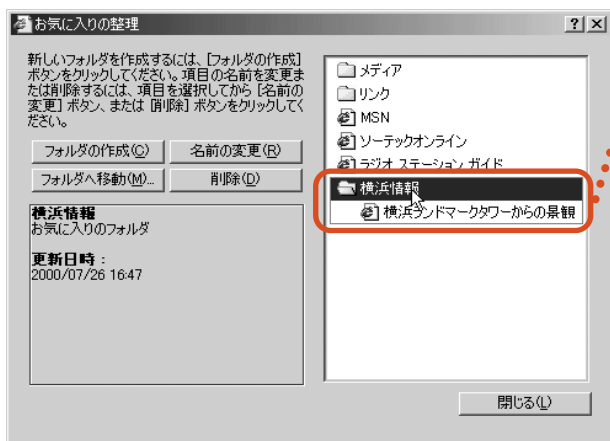
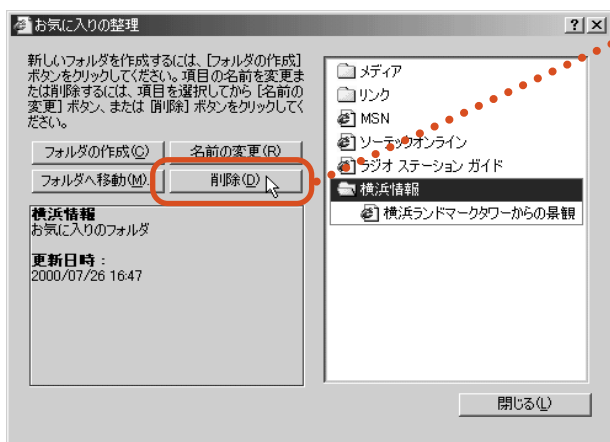
step 3 インターネットエクスプローラの便利な使いかた

「お気に入り」を削除する

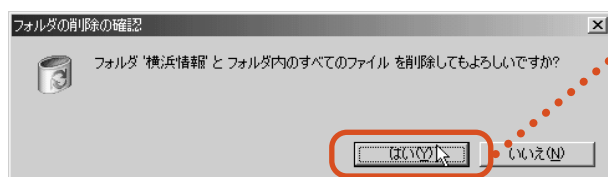
見なくなったり、アドレスが存在しなくなった「お気に入り」ページは、削除します。

1

[お気に入り]→[お気に入りの整理]の順に選択します。

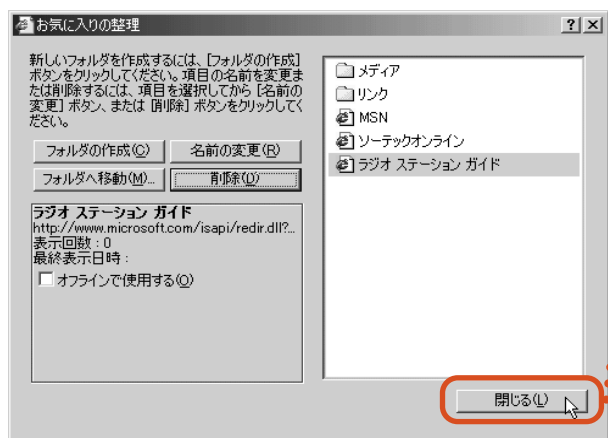
【お気に入りの整理】ダイアログが表示されます。

2

削除したい「お気に入り」やフォルダを選択します。

[削除]ボタンをクリックします。

【フォルダの削除の確認】ダイアログが表示されます。

3

[はい]ボタンをクリックします。

「お気に入り」が削除されます。
削除したい「お気に入り」が複数ある場合は、手順 2、3 を繰り返します。

4

[閉じる]ボタンをクリックします。

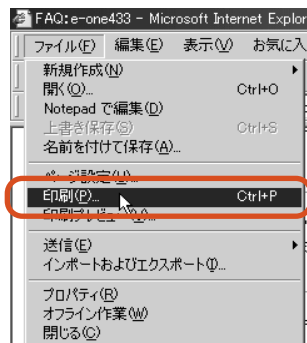
step 3 インターネットエクスプローラの便利な使いかた

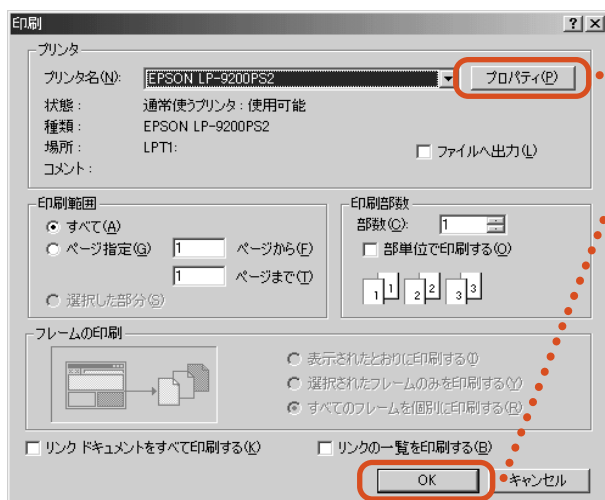
4 ページの内容を印刷する

ここでは、ページの内容を印刷する方法を説明します。

1

メニューバーの[ファイル]→[印刷]の順に選択します。
【印刷】ダイアログが表示されます。

2

必要に応じて、用紙サイズを変更します。

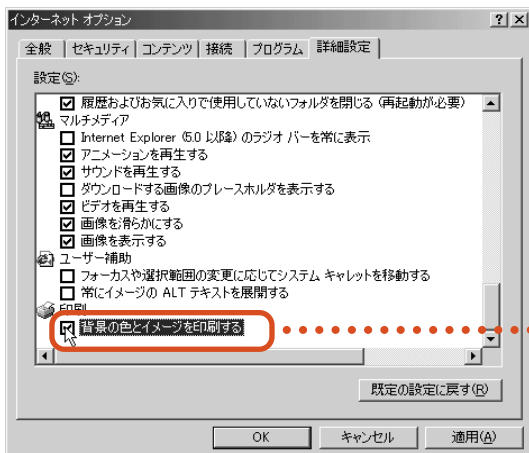
[OK]ボタンをクリックします。

印刷イメージを事前に確認するには

アドバイス

実際に印刷する前に印刷イメージを画面上で確認したり、ページ設定を変更したりできます。
メニューバーの[ファイル]→[印刷プレビュー]の順に選択します。

少し勉強

背景色も印刷するには

初期設定では、Webページの背景色とイメージは印刷しないことになっています。背景色とそのイメージも印刷したいときは、次のようにします。

①メニューバーの[ツール]→[インターネットオプション]の順に選択します。
【インターネットオプション】ダイアログが表示されます。

②[詳細設定]タブをクリックします。

③画面一番下の「背景色とイメージを印刷する」をチェックします。

④[OK]をクリックします。

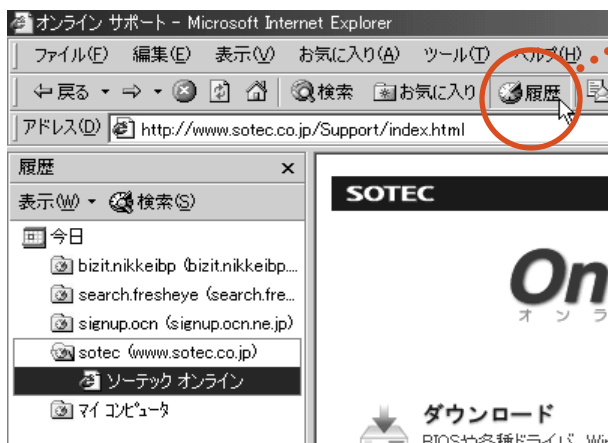
step 3 インターネットエクスプローラの便利な使いかた

5 履歴をたどって移動する

履歴をたどって過去にみたWebページを表示することができます。

1

ツールバーの[戻る]ボタンや[進む]ボタンの右横の▼をクリックすると、今見ているページから最大9個まで戻り先や進み先のページを指定できます。

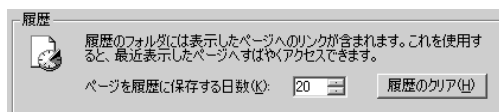
1

ツールバーの[履歴]ボタンをクリックします。

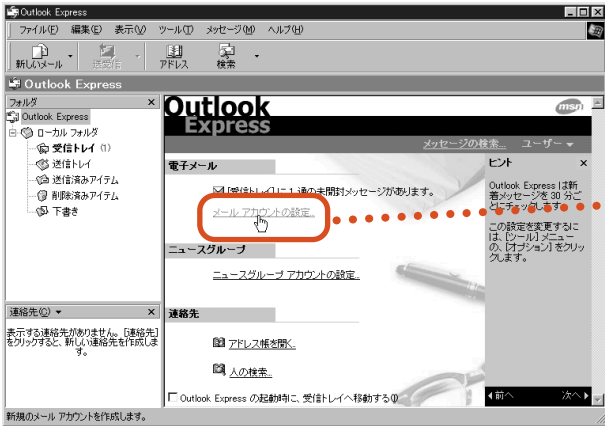
過去に見たページが日や週ごとに一覧表示され、目的のページを簡単に見つけることができます。

少し勉強

ページを履歴に保存する日数

ページを履歴に保存する日数は、[ツール]→[インターネットオプション]の順に選択し、[全般]タブから設定できます。

☞「オプションを設定する」38ページ

Step 4
電子メールの使いかた

**インターネットの代表的な利用法として、Webページを見ること以外に、電子メールの送受信があります。
ここでは、Windows Meに付属の「アウトルック エクスプレス」を使って、電子メールの基本的な使い方を説明します。**

1 メールアカウントを設定する

ここでは、アウトルックエクスプレスを起動して、メールアカウントを設定する手順を説明します。メールアカウントに設定する内容は、加入したプロバイダから通知されます。

アウトルックエクスプレスを起動する

1

デスクトップにある (アウトルックエクスプレス)をダブルクリックします。

ここをクリックしても起動できます。

メールアカウントを設定する

2

【Outlook Express】ウィンドウが表示されます。

ここで、【インターネット接続ウィザード】が起動したときは、手順 3 に進んでください。

[メールアカウントの設定]をクリックします。

メールアカウント
電子メールを利用する際のユーザー ID のこと。

用語

3

【インターネット接続ウィザード】が表示されます。

メールアドレスと一緒に表示される、自分の名前を入力します。

漢字も使用できますが、海外と電子メールをやりとりする必要があるときは、アルファベットで入力します。

[次へ]ボタンをクリックします。

step 4 電子メールの使いかた

4

[既存の電子メールアドレスを使用する]を選択します。

電子メールアドレスを入力します。

[次へ]ボタンをクリックします。

[受信メールサーバー]を入力します。

[送信メールサーバー]を入力します。

[次へ]ボタンをクリックします。

6

メールサーバーの[アカウント名]と[パスワード]を入力します。

注意 ここで入力する「アカウント名」と『パスワード」は、ダイヤルアップ接続のものとは異なります。
電子メールサーバーの[アカウント名]と[パスワード]を入力します。

[次へ]ボタンをクリックします。

7

[完了]ボタンをクリックします。

2 アウトルックエクスプレスの画面

アウトルックエクスプレスの画面構成を説明します。

メニューバー

利用できる機能やコマンド（命令）が並んでいます。

まだ読んでいない電子メールの件数です。

ツールバー

特によく使う機能やコマンドが並んでいます。

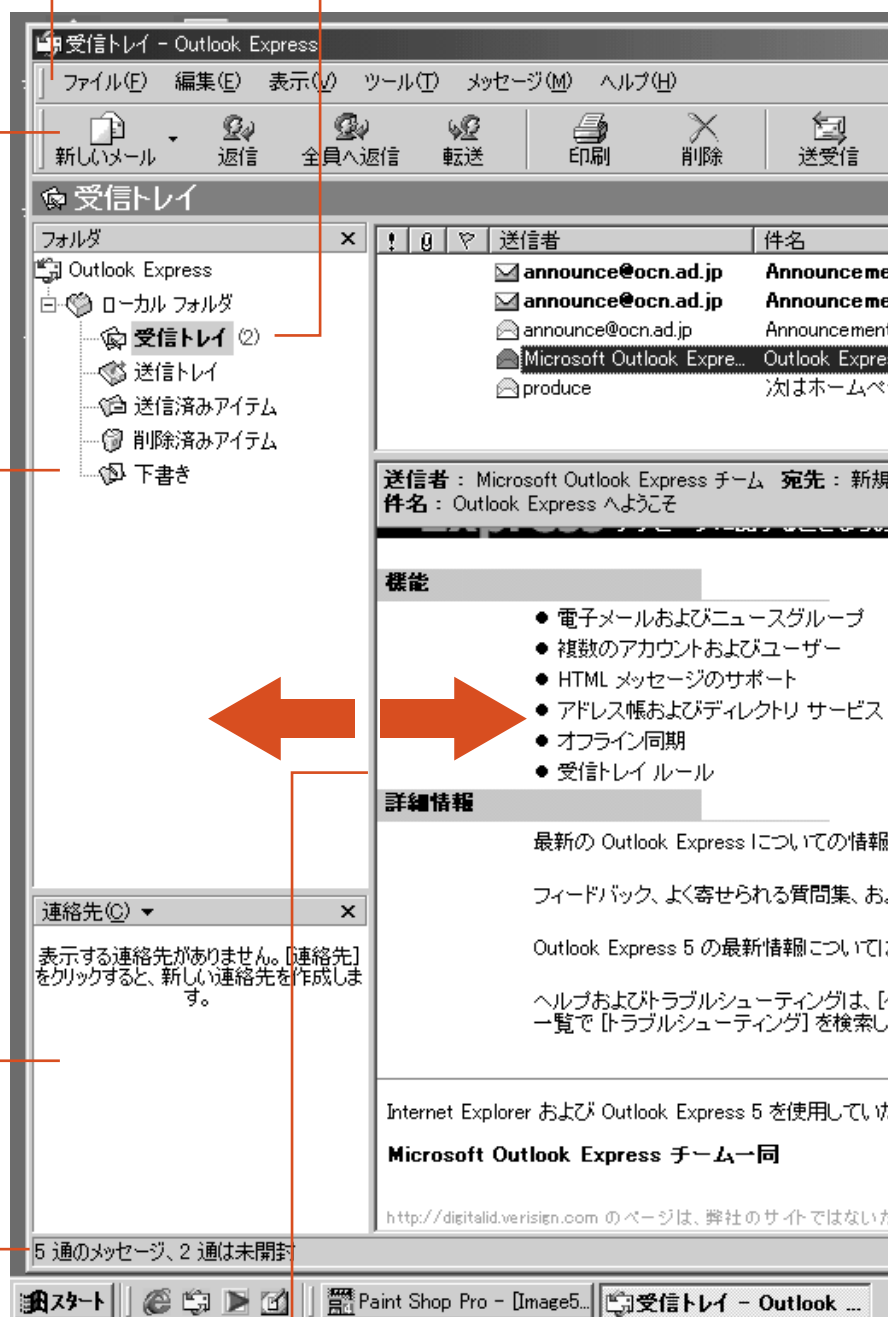
フォルダ一覧

電子メールを保存しているフォルダが表示されています。フォルダをクリックすると、その中の電子メールが画面右側に表示されます。

連絡先一覧

アドレス帳に登録されている連絡先が表示されています。

ステータスバー

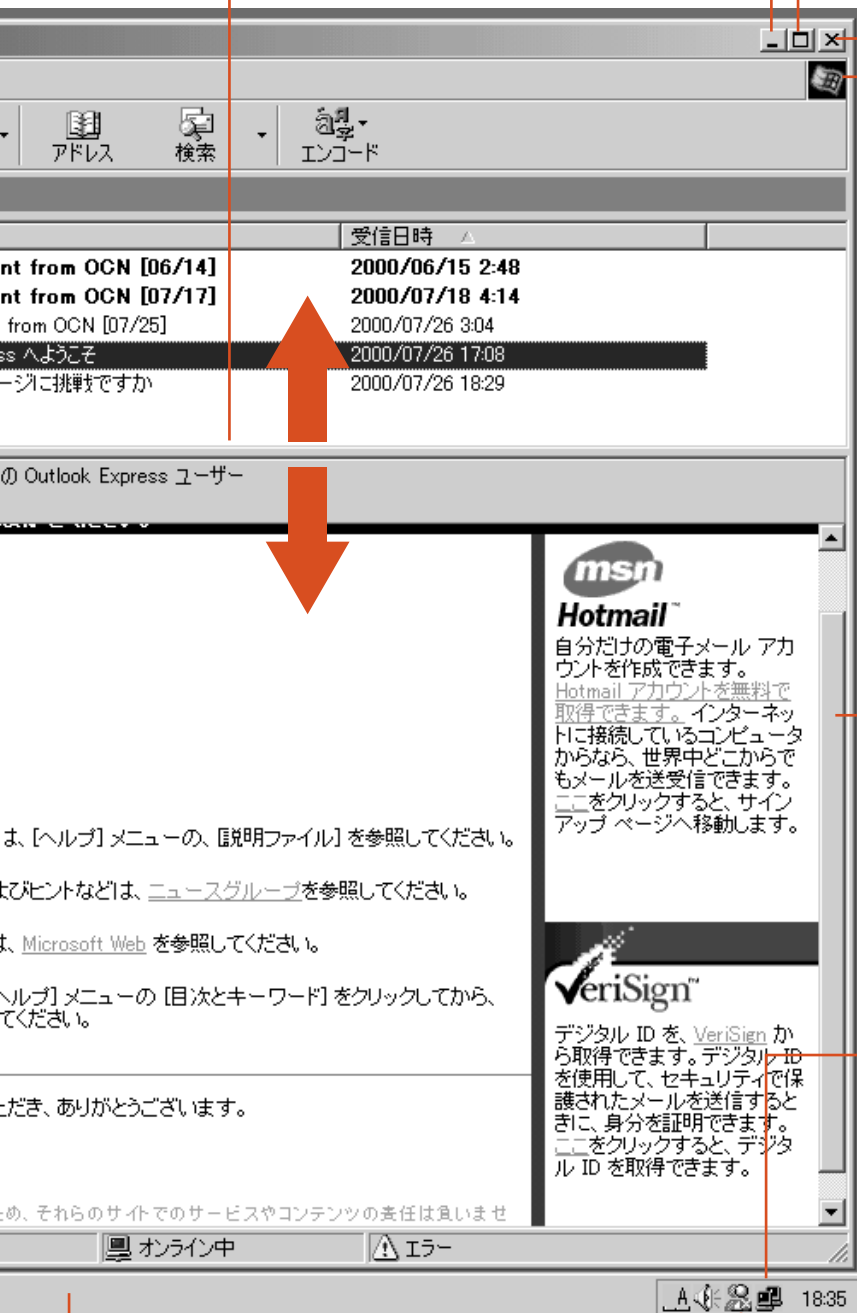
電子メールの送受信の状況などがここに表示されます。

この境界線をドラッグして左右に動かすと、表示できる範囲を変えられます。

この境界線をドラッグして上下に動かすと、表示できる範囲を変えられます。

[最小化]ボタン
アウトルックエクスプレスの画面を最小化して、タスクバーに収めます。

[最大化]ボタン
画面の大きさを最大に戻します。

[閉じる]ボタン
アウトルックエクスプレスを終了します。

インターネットに接続中は、地球のアイコンが回転します。

スクロールバー
このバーをドラッグして上下に動かすと、画面の表示内容もそれにあわせて上下に移動します。

ダイヤルアップ接続のインジケータ
ダイヤルアップ接続でインターネットに接続しているときだけ表示されるインジケータです。実際の通信中は、緑色に点滅します。（インターネットに接続していても、回線がビジーなので実際の通信が一時中断しているときは、点滅しません。）

タスクバー
現在実行中のアプリケーションのボタンが表示されます。

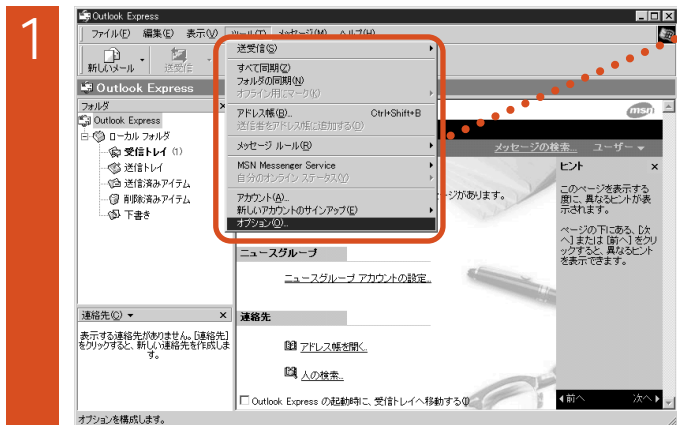
タスクトレイ
各種のインジケータが表示されます。

新着メールのインジケータ
新しい電子メールが届いたときに表示されます。

3 オプションを設定する

【オプション】ウィンドウで、さまざまな設定ができます。

【オプション】ウィンドウは次のように表示します。

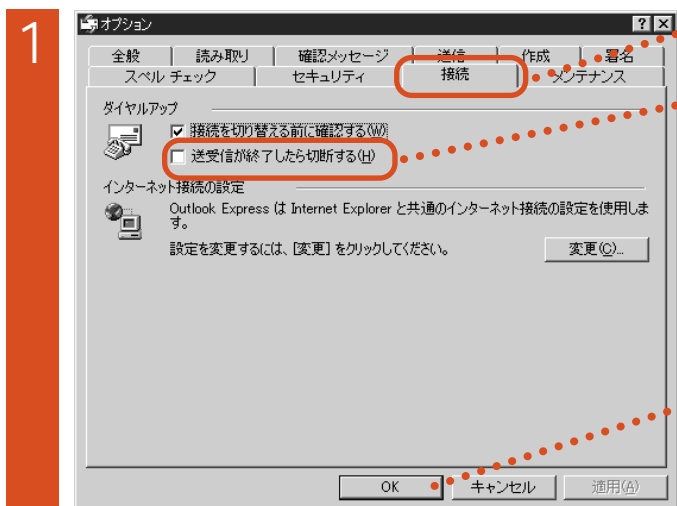
1

[ツール]→[オプション]の順に選択します。

【オプション】ウィンドウが表示されます。

step 4

電子メールの使いかた

■電子メールの送受信が終われば自動的に電話を切る

1

[接続]タブをクリックします。

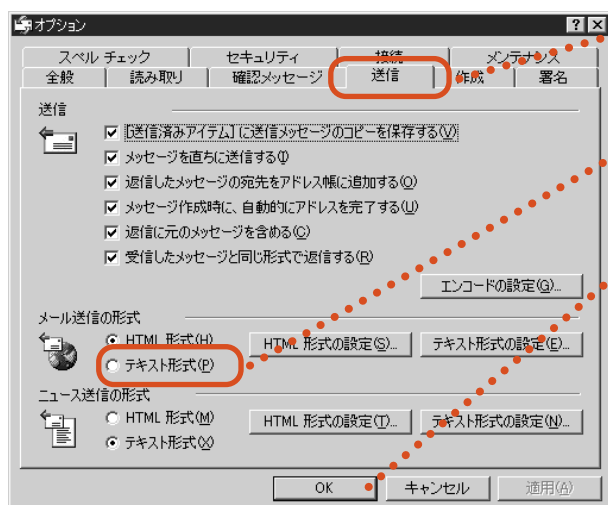
[送受信が終了したら切断する]をチェックします。

[OK]ボタンをクリックします。

電子メールの送受信が終わったら自動的に電話回線が切断されて、電話料金を節約できます。

■送信する電子メールをテキスト形式にする

アウトルックエクスプレスでは、HTML形式でメッセージを作成するように設定されていますので、テキスト形式で作成するように変更します。テキスト形式でメッセージを書いておけば、相手側がHTML形式の電子メールを受け取ることのできない電子メールソフトウェアを使っていても、電子メールを読むことができます。

1

[送信]タブをクリックします。

[テキスト形式]を選択します。

[OK]ボタンをクリックします。

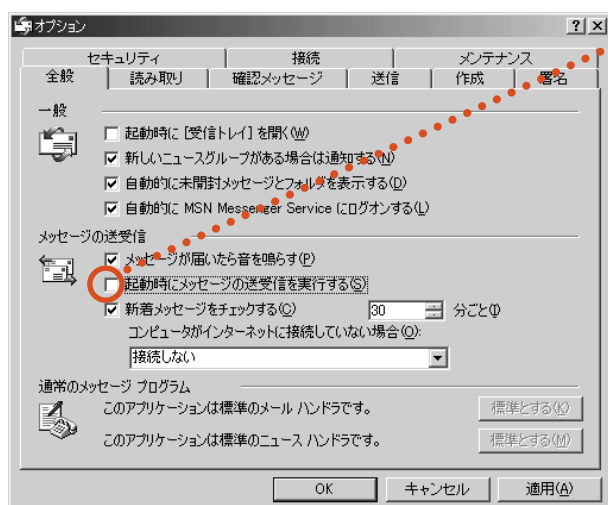
次回アウトルックエクスプレスを起動すると、テキスト形式で電子メールを作成できます。

用語

テキスト形式
文字だけを送受信する通常の形式です。携帯電話を使用している相手に電子メールを送るときは、この形式にします。

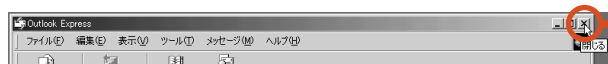
HTML形式
文字の色やサイズを指定したり、画像や罫線などを使用でき、豊かな表現ができる形式です。ただし、送信する相手側がアウトルックエクスプレスを使っていない場合、正しく表示できないことがあります。

■アウトルックエクスプレスの起動時にインターネットに接続する

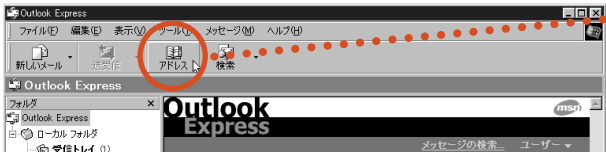
1

[起動時にメッセージの送受信を実行する]をチェックします。

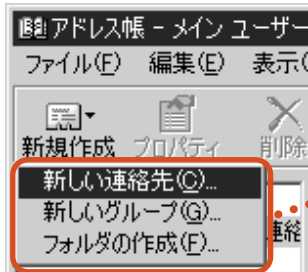
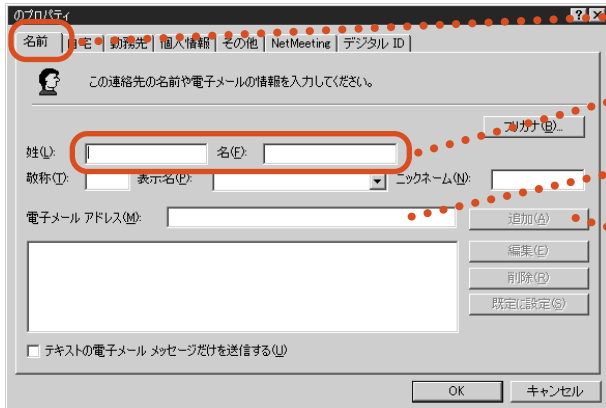
次回からは、アウトルックエクスプレスを起動すると、自動的に接続がはじまります。

■アウトルックエクスプレスを終了する

1

アウトルックエクスプレスの右上の ☒ をクリックします。

4 アドレス帳にメールアドレスを登録する

よく使うメールアドレスを登録しておくと、電子メールをすばやく作成できます。

メールアドレスは、電子メールを送るときの相手の「住所・宛先」にあたるものです。電子メールの「宛先」にメールアドレスを入力して、電子メールを送る相手を特定します。
しかし、英数字が並んでいるだけのメールアドレスは覚えにくく、電子メールを送るたびに入力するのは、間違いも起こしやすいものです。そこで、メールアドレスの記録、整理を行うことができる便利な機能がアドレス帳です。
アドレス帳には、住所や勤務先などの個人情報を登録したり、会社、家族、サークルなどのグループ全員に、同時に電子メールを送ることができるように、複数のメール アドレスをグループとしてまとめる機能などがあります。

1

[アドレス]をクリックします。

【アドレス帳】ウィンドウが表示されます。

2

[新規作成]→[新しい連絡先]の順に選択します。

3

[名前]タブを選択します。

登録する相手の名前を入力します。

電子メールアドレスを入力します。

[追加]ボタンをクリックします。

4

これらのタブをクリックすると、住所や勤務先などの個人情報も合わせて登録できます。

アドレスは、ここに追加されます。

[OK]ボタンをクリックします。

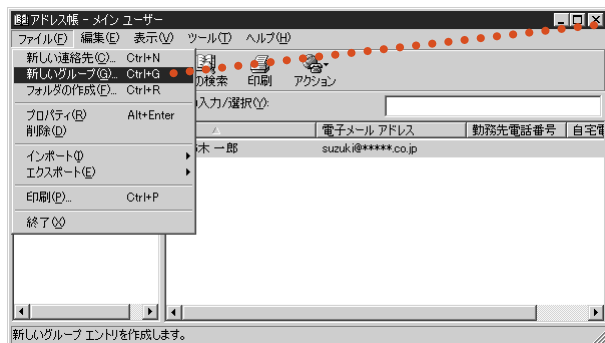
これで、アドレス帳に登録されました。

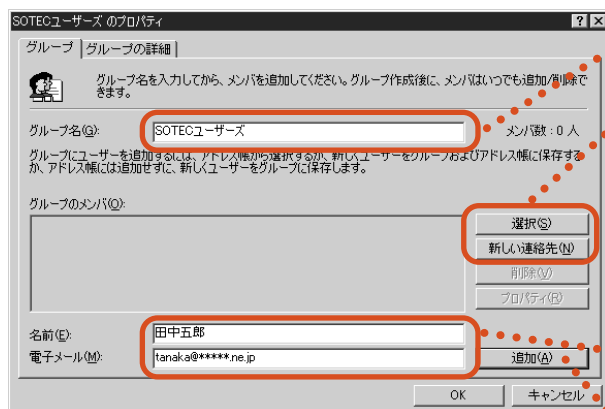
5 メールアドレスのグループを作成する

メールアドレスをグループ分けします。

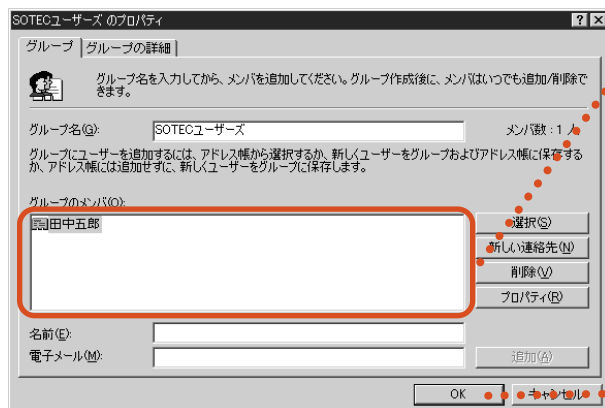
ひとつの電子メールを、特定のグループ（会社・家族・サークルなど）の全員に送りたいときは、複数のメールアドレスを登録した「グループ」を作成します。
電子メールを送るときの「宛先」に「グループ」を選ぶだけで、そのグループに登録されている全員に同じ電子メールが送信されます。

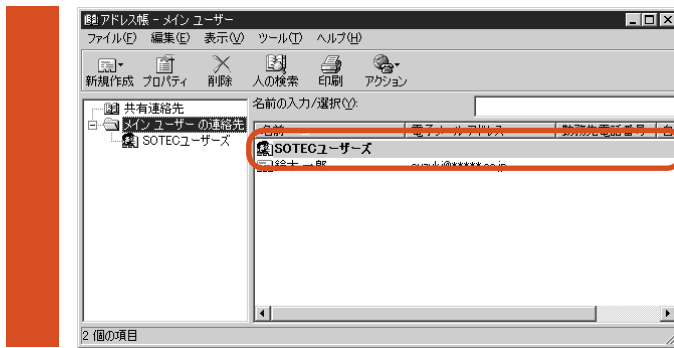
1

[ファイル]→[新しいグループ]の順にクリックします。

2

[グループ名]を入力します。

グループのメンバーを、すでにアドレス帳に登録されている「名前」から選ぶときは、[選択]ボタンをクリックします。
[新しい連絡先]ボタンをクリックすると、「名前」と「電子メール」以外の詳しい情報も合わせて入力できます。

そのグループに新しいユーザーを追加するには、その人の名前とメールアドレスを入力します。

[追加]ボタンをクリックします。

追加したメンバーが「グループのメンバ」欄に表示されます。
複数のメンバーを登録するときは、手順 2 を繰り返します。

グループの登録とメンバーの選択が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

アドレス帳に、グループが登録されています。
電子メールを送るときの「宛先」欄に、この「グループの名前」を選ぶと、グループのメンバー全員に同じ電子メールを送ることができます。

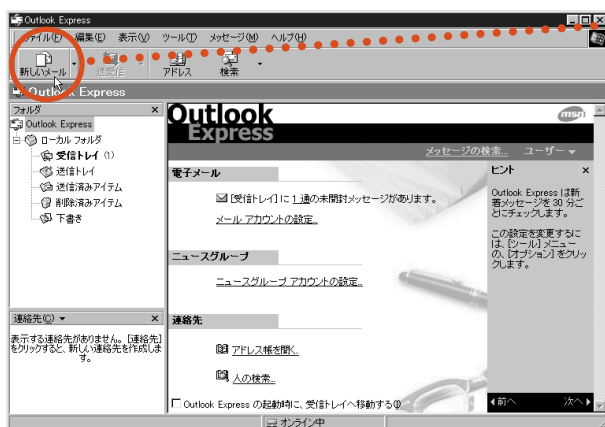
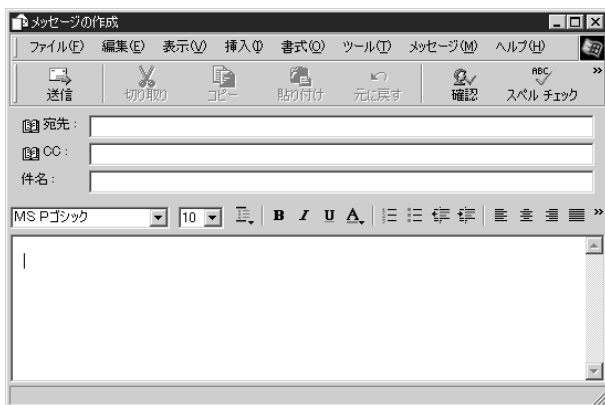
☞「アドレス帳から宛先を選択する」63 ページ

6 電子メールを作成する

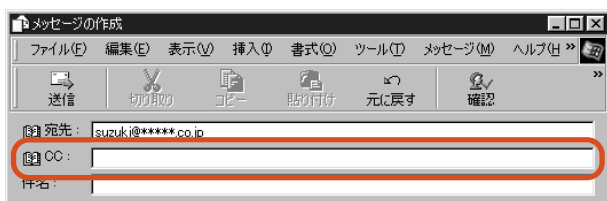
アウトルックエクスプレスを使ってメッセージを作成する手順を説明します。

【メッセージの作成】を開く

電子メールを作成するには、【メッセージの作成】ウィンドウを開きます。

1

[新しいメール]ボタンをクリックします。

【メッセージの作成】ウィンドウが表示されます。

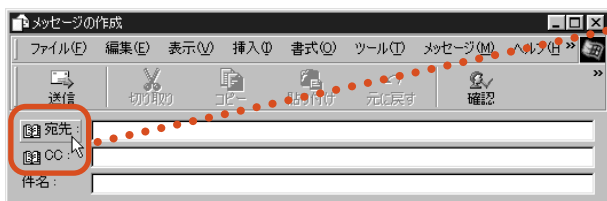
メールアドレスを入力する

1

メールアドレスを入力します。
直接入力する方法と、次の「アドレス帳から宛先を選択する」で説明する選択式の方法があります。

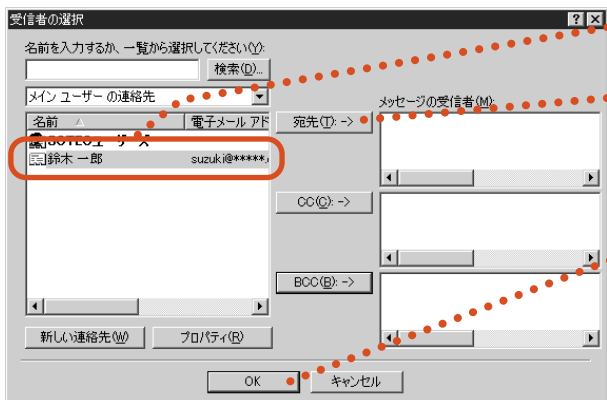
「CC」と「BCC」
「宛先」の相手に送った電子メールを、他の人にも同時に送りたいときは、「CC」にアドレスを入力します。「宛先」や「CC」で名前（アドレス）が指定された相手は、他に、どの人が電子メールを受け取ったかを知ることができます。これに対して、他に誰が同じ電子メールを受け取ったのかを秘密にする機能があります。それが「BCC」です。ダイレクトメールなどには、この「BCC」が使われています。
「BCC」を表示するには、[表示]→[すべてのヘッダー]の順に選択します。「CC」は、Carbon Copy（カーボンコピー）、「BCC」は、Blind Carbon Copy（ブラインドカーボンコピー）の略です。

アドレス帳から宛先を選択する

メールアドレスをアドレス帳に登録している場合は、【受信者の選択】ウィンドウから、送信相手（アドレス）を選べます。

1

[宛先]をクリックします。

【受信者の選択】ダイアログが表示されます。

2

送信したい相手を選択します。

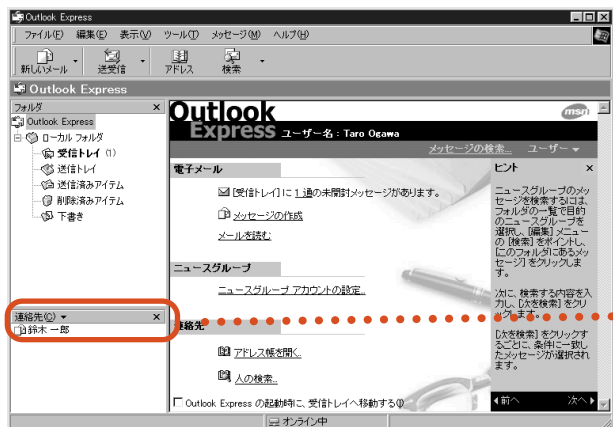
[宛先]ボタンをクリックします。
[メッセージの受信者]欄に宛先が表示されます。
「CC」や「BCC」の相手も、同じように指定します。

[OK]ボタンをクリックします。
電子メールアドレスをアドレス帳に登録する手順については、「アドレス帳にメールアドレスを登録する（☞58ページ）」をお読みください。

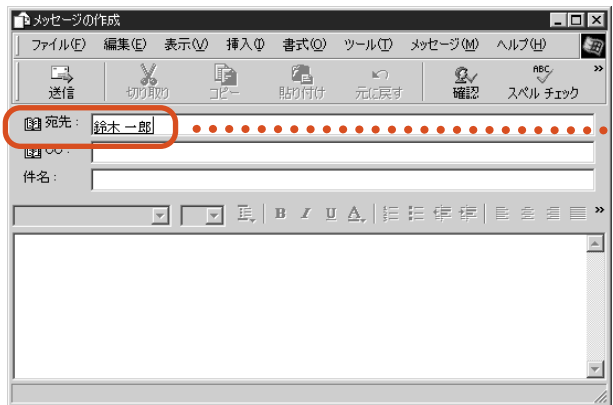
step 4 電子メールの使いかた

メールアドレス入りの【メッセージの作成】を開く

メールアドレスをアドレス帳に登録済みのときは、メールアドレスが自動的に入力された【メッセージの作成】ウィンドウを開くことができます。（この方法が一番簡単です。）

1

メールアドレスをアドレス帳に登録している場合は、登録済の名前が［連絡先］に表示されます。

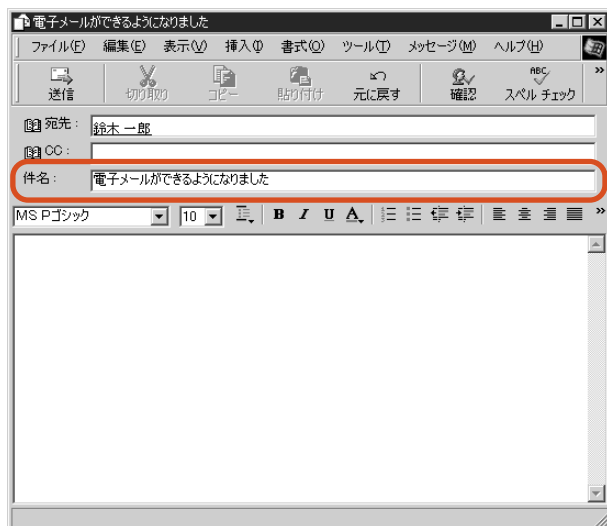
この名前をダブルクリックします。

【メッセージの作成】ウィンドウが表示されます。

[宛先]欄に、相手のメールアドレスが自動的に入力されています。(この例では漢字になっていますが、アドレス帳に登録したときの「表示名」ですので、問題なく送信できます。)

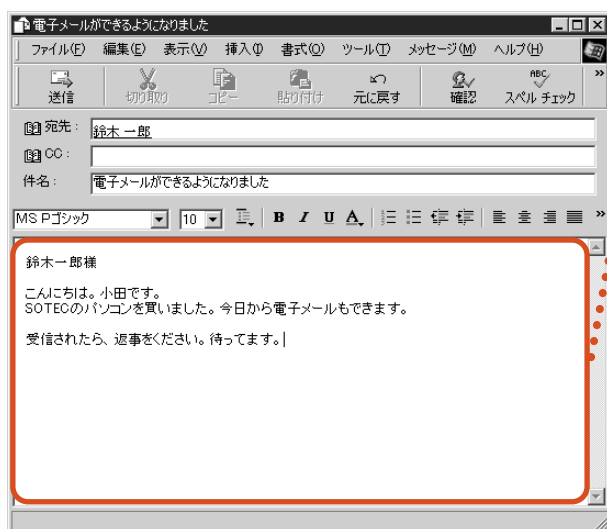
☞「アドレス帳にメールアドレスを登録する」
58 ページ

電子メールの件名とメッセージを入力する

アドレスを入力したら、次に「件名」を入力します。件名とは、電子メールの内容や用件を簡単に示したタイトルのことです。

1

件名を入力します。

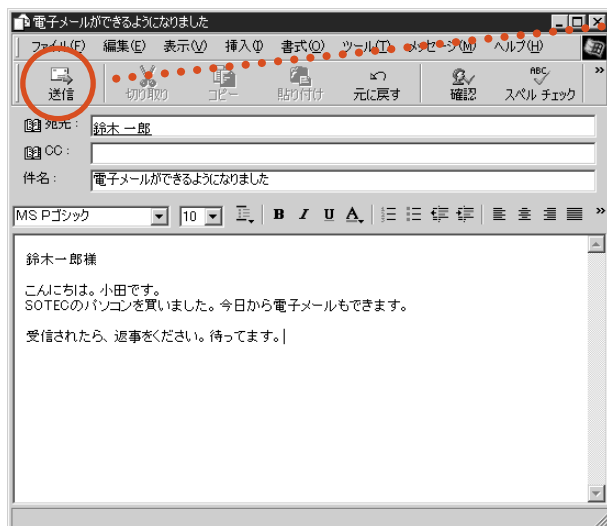
件名は全角20文字以内を目安になるべく短くしましょう。

2

ここにカーソルを合わせて、メッセージを書きます。

件名や本文に、半角カタカナと全角の特殊文字（①や№など）は使用しないでください。電子メールを受け取った相手が読めない場合があります。

7 電子メールを送信する

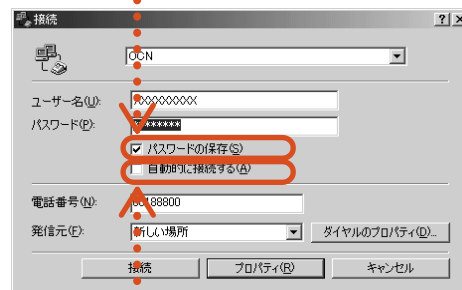
書き終わった電子メールを送信します。

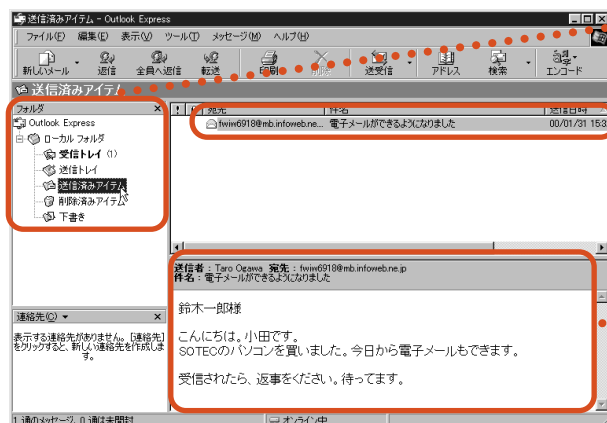
1

[送信]ボタンをクリックします。

インターネットに接続して、電子メールが送信されます。

パスワードを保存する

アドバイス

[パスワードの保存]をチェックすると、次回から自動的に入力されます。

[自動的に接続する]をチェックすると、アウトルックエクスプレスを起動すると同時に、自動的にダイヤルアップ接続を行ないます。

2

[送信済みアイテム]をクリックします。

[送信済みアイテム]フォルダに、送信した電子メールが保存されています。

内容を確認したい電子メールを選択します。

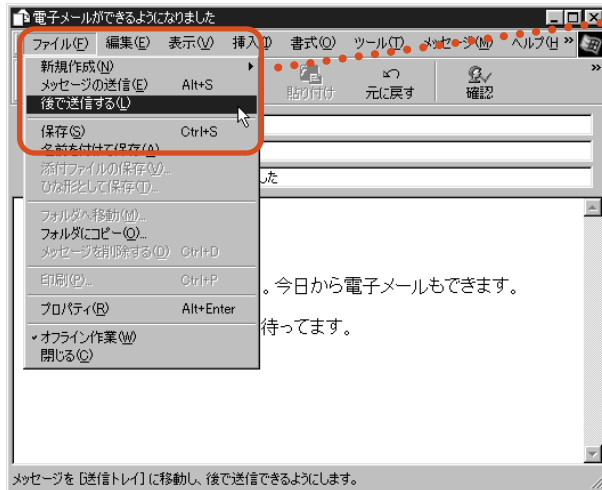
ここに内容が表示されます。

[ファイル]→[終了]の順に選択してアウトルックエクスプレスを終了します。

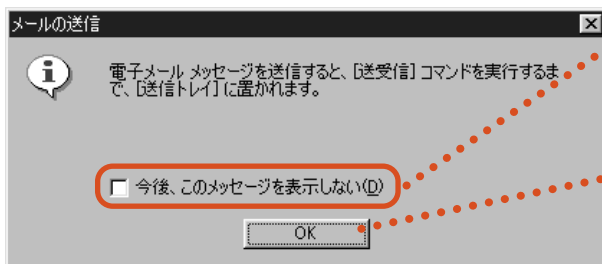
電子メールを後でまとめて送信する

何通も電子メールを送るときは、インターネットに接続する前に作成しておき、後でまとめて送信すると電話代が節約できます。

1

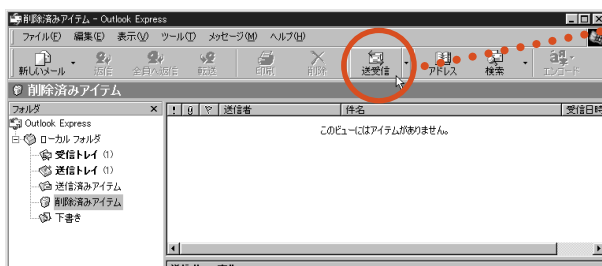
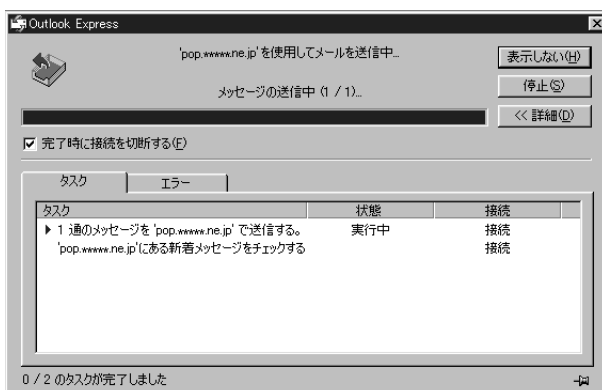
電子メールを書き終わったら、[ファイル]→[後で送信する]の順に選択します。

【メールの送信】ダイアログが表示されます。

2

ここをチェックすると、次回から[メールの送信]ダイアログは表示されなくなります。

[OK]ボタンをクリックします。

[送信トレイ]フォルダに保存されます。

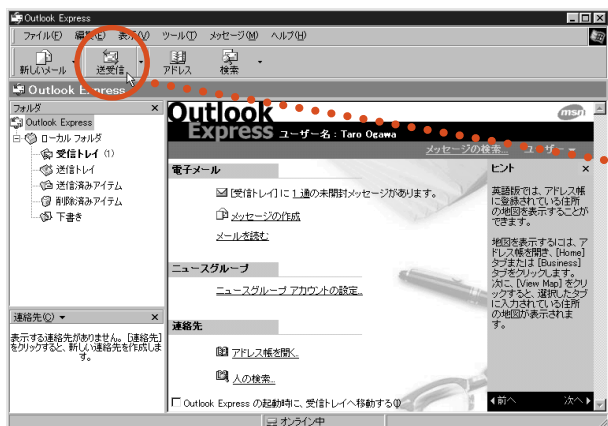
3

まとめて送信するときになったら、[送受信]ボタンをクリックします。

インターネットに接続して、電子メールを送信します。このときに、受信も合わせて行われます。

8 電子メールを受信する

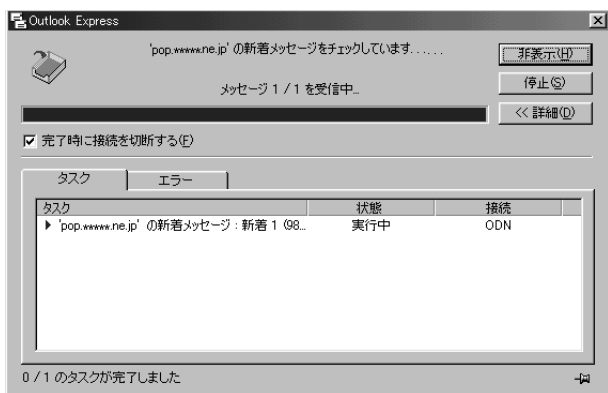
相手から送られてきた電子メールを受信する方法について説明します。通常は、プロバイダに接続するまで電子メールが届いているか分かりません。こまめに電子メールをチェックしましょう。

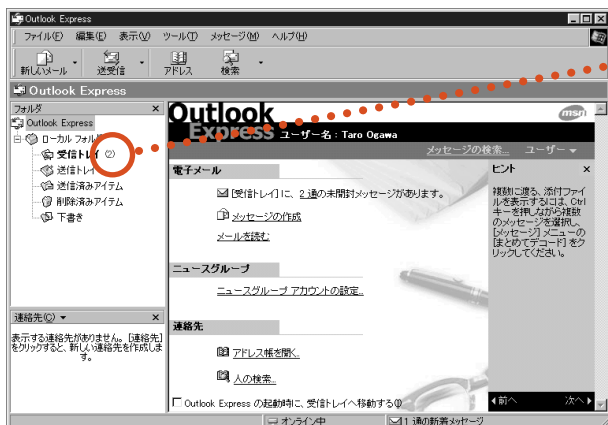
届いた電子メールを受信する

相手から送られてきた電子メールは、プロバイダの受信メールサーバーまでしか届いていません。自分のパソコンを受信メールサーバーに接続して初めて、電子メールが受信できます。

1

アウトルックエクスプレスを起動します。

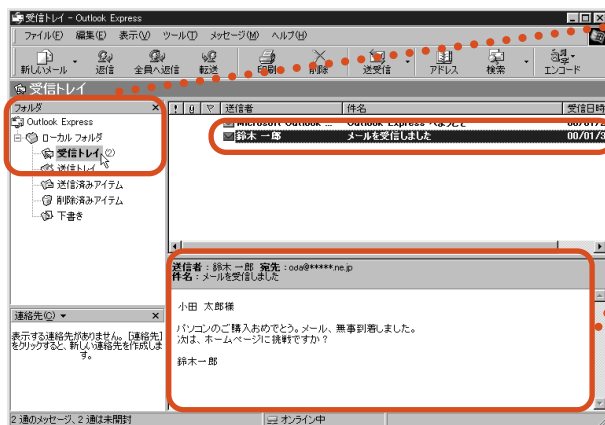
☞「アウトルックエクスプレスを起動する」
52 ページ

[送受信]ボタンをクリックします。

プロバイダの受信メールサーバーに接続されます。

受信メールサーバーに自分宛ての電子メールが届いていれば、[受信トレイ]フォルダに受信されます。

届いた件数が表示されています。

受信した電子メールを読む

[受信トレイ]フォルダに保存されている電子メールを読みます。

1

[受信トレイ]をクリックします。

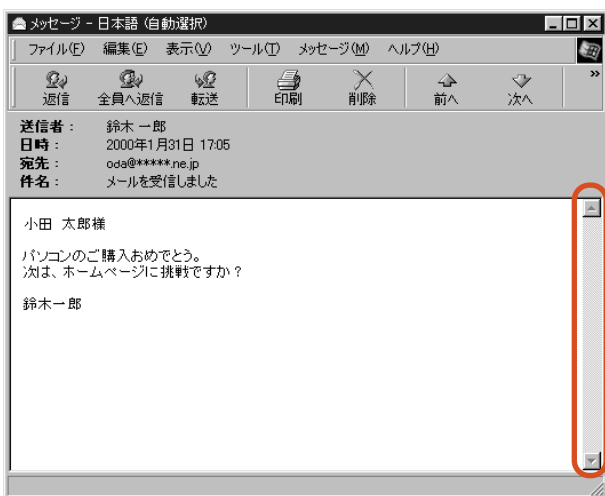
読みたい電子メールを選択します。

プレビューウィンドウに内容が表示されます。

2

プレビューウィンドウのままでも読めますが、読みにくい場合は電子メールを 1 つずつ開いて読むことができます。

読みたい電子メールをダブルクリックします。

3

選んだ電子メールが表示されます。

ここをスクロールさせて、電子メールを読みます。
電子メールは何通でも同時に開くことができます。

読み終わったら、 (閉じる)ボタンをクリックします。

アウトルックエクスプレスを終了します。

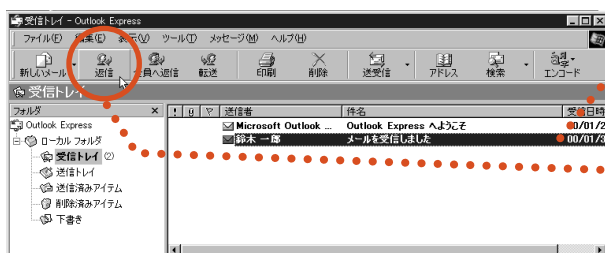
☞「アウトルックエクスプレスを終了する」 57 ページ

9 電子メールを返信する

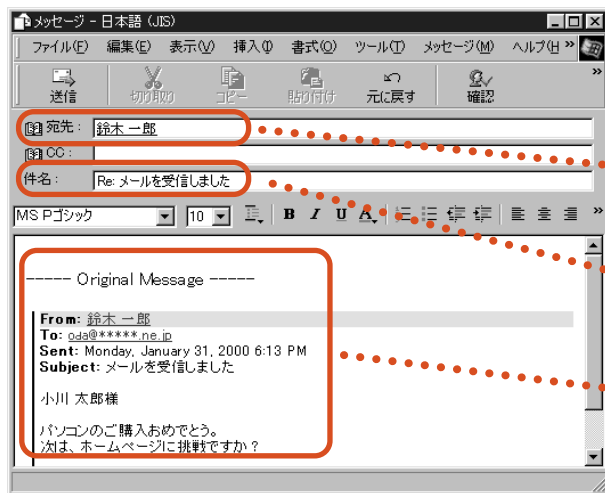
受信した電子メールを使って返信する方法について説明します。

届いた電子メールに返事を書く

届いた電子メールに返事を書くときは、その電子メールを使って簡単に返事を書くことができます。

1

返事を出したい電子メールを選択します。

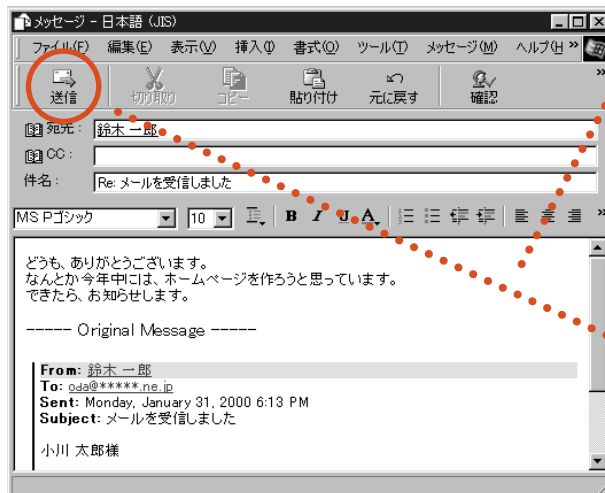
[返信]ボタンをクリックします。

[CC]が入力されている場合、[全員へ返信]ボタンをクリックすると、[CC]の相手にも返事のコピーが送信できます。

メッセージ作成のウィンドウが表示されます。

宛先に、選んだ電子メールの差出人が自動で入力されます。

件名の先頭に「Re ：」が付いた形で、件名が自動で入力されます。

もとの電子メールの情報が入力されます。
行頭に線や「>」のマークが付いているところは、もとの電子メールから引用された文章です。

2

メッセージを作成します。

引用文が長いときは、必要な部分以外を削除しながら、上手にメッセージを書きましょう。

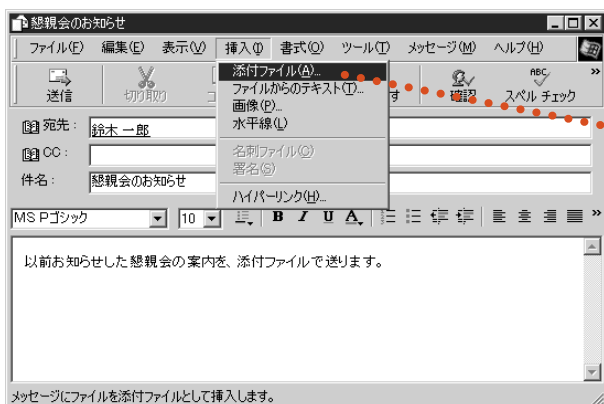
[送信]ボタンをクリックします。
電子メールが送信されます。

10 添付ファイル付きの電子メールを送受信する

添付ファイル付きの電子メールを送受信する方法を説明します。

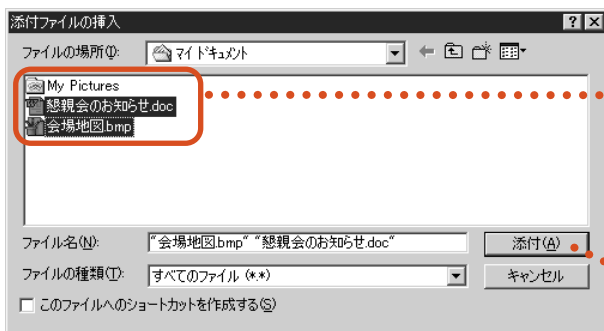
電子メールにファイルを添付して送信する

電子メールで送受信できるデータは、本文の文字（テキスト）データだけではありません。
たとえば、ワープロソフトや表計算ソフトで作成したファイルやデジカメで撮った画像ファイルも、添付するという形で電子メールと一緒に送ることができます。
メールサーバに接続すると、自動的に添付ファイル付きの電子メールが受信されます。受信の際は、受信のための特別な操作は必要ありません。

1

通常の電子メールと同じように［宛先］［件名］［本文］を入力します。

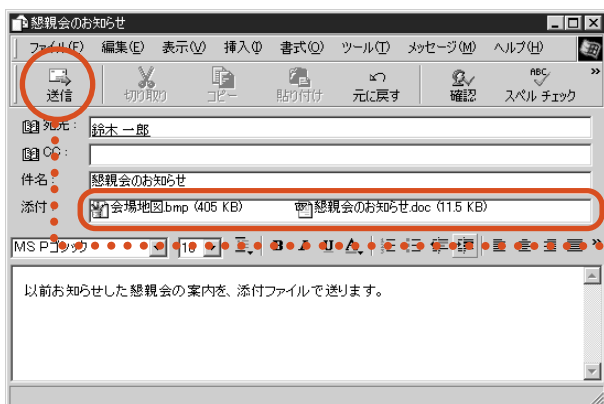
[挿入]→[添付ファイル]の順に選択します。

【添付ファイルの挿入】ウィンドウが表示されます。

2

添付するファイルを選択します。

複数のファイルを選択するときは、[CTRL]キーを押しながら、ファイルをクリックします。

選択が終了したら、[添付]ボタンをクリックします。

3

添付したファイルが表示されます。

添付するファイルから外すときは、ファイルをクリックして Delete キーを押します。

[送信]ボタンをクリックします。
電子メールが送信されます。

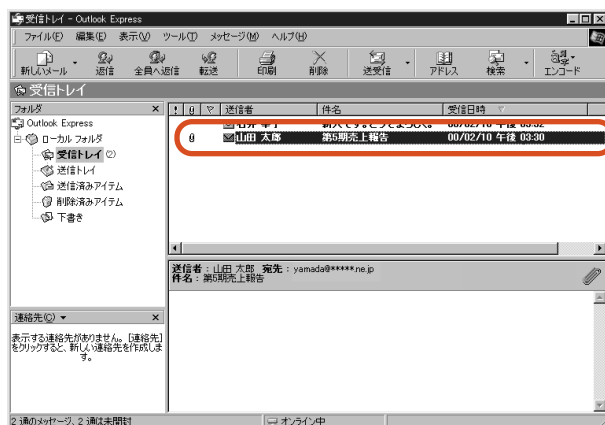
注意

受信側のサーバによっては、受け取ることのできる添付ファイルのサイズに制限があり、送信エラーになることがあります。詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

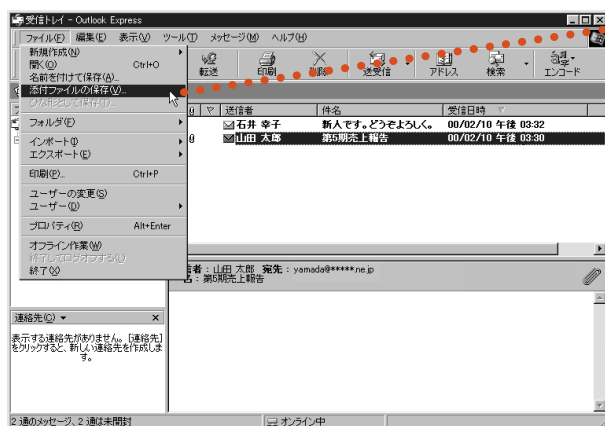
10 添付ファイル付きの電子メールを送受信する

受信した電子メールの添付ファイルだけを取り出して保存する

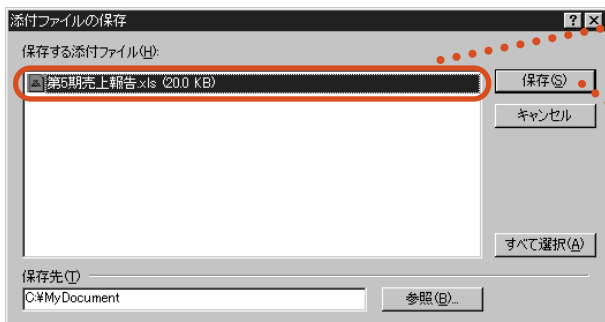
添付ファイル付きの電子メールを受け取ったときは、添付されたファイルだけを取り出して、電子メールとは別の場所に保存できます。

1

先頭にクリップマーク 🖇 が付いた電子メールを選択します。

🖇 は、添付ファイル付きの電子メールを表わすマークです。

2

[ファイル]→[添付ファイルの保存]の順に選択します。

【添付ファイルの保存】ウィンドウが表示されます。

3

ファイルを選択します。
保存先は、[参照]ボタンをクリックして選択します。

[保存]ボタンをクリックします。

Step 5

インターネットのQ&A

インターネットに接続してWebページを見るときや、電子メールをやりとりするときに、困ったことが起きた場合の対処方法をQ & A形式で説明しています。

1 インターネットに接続しようとしたら…

インターネットに接続しようとして、「つながらないので困った」、「どうすればいいか分からない」ときにお読みください。

電話回線がつながらない

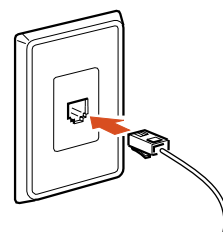
■パソコンのモデムと電話回線が正しく接続されていない

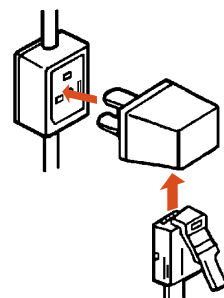
接続が間違っている。

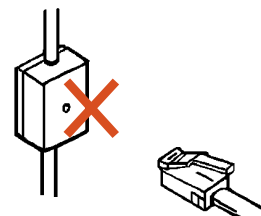
パソコンと電話回線が、モジュラーケーブルで正しく接続されているか確かめてください。

☞「モデムと電話回線をつなぐ」18 ページ

電話回線のコンセントがモジュラー式ではない。

通常使用する電話回線は、右の図のようなモジュラー式コンセントにモジュラーケーブルを接続します。コンセントがモジュラー式でない場合は、次のように対応してください。

3 ピンプラグ式コンセントの場合

市販の 3 ピンプラグ変換アダプタを使って、モジュラーケーブルを接続します。
接続方法がわからないときは、NTT にお問い合わせください。

直結配線式の場合

直結配線式コンセントをモジュラー式コンセントに変更します。詳しくは、NTT にお問い合わせください。

ホームテレホンを使用している。

ホームテレホンやオフィスホン（内線）式の電話回線には、直接モデムをつなぐことはできません。NTT、またはご使用の電話機の販売元にお問い合わせください。

■電話回線の使いかたが間違っている

電話機を使用している。

電話をかけている間はインターネットに接続できません。電話を切ってからインターネットに接続してください。

ISDN 回線の場合

ISDN 回線の場合は、電話をかけているときでも、インターネットを利用することができます。詳細については、NTT にお問い合わせください。

キャッチホンサービスを使用している。

キャッチホンサービスを使用している場合は、インターネットに接続しているときに電話がかかってくると、電話回線が切断されることがあります。もう一度電話回線に接続し直してください。

キャッチホンⅡサービス

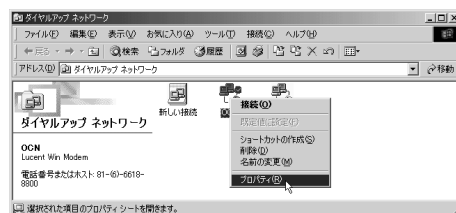
キャッチホンⅡサービスを使用すると、インターネットに接続しているときにかかってきた電話の内容が転送・録音され、電話回線が切断されることはありません。詳細については、NTT にお問い合わせください。

電話回線を使う別のアプリケーションが起動している。

電話回線を使う別のアプリケーションが起動している場合、インターネットに接続できないことがあります。アプリケーションを終了させてから、インターネットに接続してください。

電話番号が正しく入力されていない。

いままでインターネットに接続できた番号でも、市外局番や桁数が変更された場合は接続できなくなります。
ダイヤルアップネットワークの設定を見直してください。

電話番号は、次の手順で確認・変更します。

① [スタート]ボタン→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]の順に選択します。

② 電話番号を確認・変更したいプロバイダのアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

③ 電話番号を確認・変更します。

④ [OK]ボタンをクリックします。

■インターネット接続に関係する設定が正しくない

【インターネット接続ウィザード】が表示される。

【インターネット接続ウィザード】が表示されるのは、プロバイダへの申し込みが済んでいないか、入会していてもインターネットに接続するための設定がまだ終わっていないためです。
インターネットに接続するための設定を完了してください。

☞「プロバイダの情報を設定する」22 ページ
「オンラインサインアップする」24 ページ

インターネット接続、ダイヤルアップ接続の設定が間違っている。

次の手順で設定を確認します。

① [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択します。

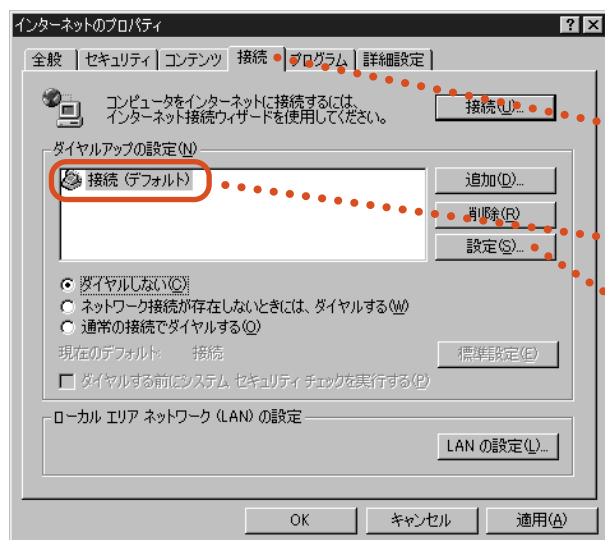
② 【コントロールパネル】ウィンドウの[インターネットオプション]アイコンをダブルクリックします。

③ 【インターネットのプロパティ】ウィンドウの[接続]タブをクリックします。

④ 設定を確認するダイヤルアップ名を選択します。

⑤ [ダイヤルアップの設定]欄の中の[設定]ボタンをクリックします。

⑥ プロバイダに接続するための設定が間違っていないか、【(接続の名前) 設定】ダイアログの内容を確認します。

⑦ [OK]ボタンをクリックします。

■ダイヤルのプロパティの設定が正しくない

電話回線のトーン/パルスの設定や外線発信を使用するときの設定が間違っている。
お使いの電話回線と合っているか、次の手順にしたがって設定を確認します。

① [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択します。

② 【コントロールパネル】ウィンドウの[テレフォニー]アイコンをダブルクリックします。

③ 【ダイヤルのプロパティ】ダイアログの[所在地情報]タブをクリックします。

④ 外線発信(0 発信式など)が必要な電話回線を使用している場合は、パソコンを設置している場所の市外局番の先頭の「0」を省いた番号を入力します。
(たとえば、横浜市の市外局番は「045」なので、「45」と入力します。)

⑤ 外線発信が必要な電話回線の場合は、「0」などの発信用番号を入力します。

⑥ プッシュ回線の場合は「トーン」を、ダイヤル回線の場合は「パルス」を選択します。

⑦ [OK]ボタンをクリックします。

■外線(内線)発信番号で接続できない

会社やホテルなどの外線(内線)番号を利用している電話回線では、通信アプリケーションソフトがトーンを検出できずに、電話回線が接続できない場合があります。
次の手順で設定してください。

① [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択します。
② 【コントロールパネル】ダイアログの[モデム]アイコンをダブルクリックします。
③ 【モデムのプロパティ】ダイアログの[全般]タブをクリックします。
④ モデムを選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。
⑤ 【(モデムの型式)のプロパティ】ダイアログの[接続]タブをクリックします。
⑥ [接続オプション]欄の「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックを外します。
⑦ [OK]ボタンをクリックします。
⑧ [閉じる]ボタンをクリックします。

■文字化けやデータの送受信中にエラーが起こる

テレビやラジオの近くにパソコンを設置している。

テレビやラジオなどから離れた所に、パソコンを設置してください。

■モデムが動作しない

モデムが正しく認識されていない。

① [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択します。
②【コントロールパネル】ウィンドウの[システム]アイコンをダブルクリックします。
③【システムのプロパティ】ウィンドウの[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
④ モデムが正しく認識されているかを確認します。

認識について

[モデム]アイコンが表示されていなかったり、[モデム]アイコンに×や!が表示されているときは、正しく認識されていません。Windows Me のヘルプを参照して、正しく認識された状態にしてください。

同じ名前のモデムが 2 つ以上存在する。

同じ名前のモデムが 2 つ以上ある場合は、2 つ目以降を削除します。
① 前記の「モデムが正しく認識されていない。」の手順①から③を行います。
② モデムの名前を確認します。
③ 重複しているモデムの名前をクリックします。
同じ名前のモデムが 2 つ以上ある場合は、2 つ目以降のモデムの名前の末尾に「#2」や「#3」と表示されます。
④ [削除]ボタンをクリックします。

モデムが正しくセットアップされていない。

新しく別のモデムを取り付けたときは、セットアップが必要です。詳しくは、モデムのマニュアルをご覧ください。

モデムで電話回線がつながるか確認したい。

「ダイヤラ」を使ってモデムから電話をかけることで、モデムが正しく動作しているかを確認できます。
① パソコン本体に電話機を接続します。
☞「モデムと電話回線をつなぐ」18 ページ
② [スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤラ]の順に選択します。
③【ダイヤラ】ウィンドウの[電話番号]欄に電話番号を入力します。
④ [ダイヤル]ボタンをクリックします。
【ダイヤル中】ウィンドウが表示されます。
モデムが正常に動作している場合は、電話がつながります。
つながらない場合は、下記の「ダイヤラでダイヤルできない」や「電話回線がつながらない(☞74 ページ)」をお読みください。
それでも動作しない場合は、モデムが故障している恐れがあります。
ソーテック テクニカルサポートセンタまでお問い合わせください。

ダイヤラでダイヤルできない

上記の方法でダイヤラを使って正常にダイヤルできないときは、【ダイヤル中】ウィンドウの[オプションの変更]ボタンをクリックし、「リダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してから、もう一度ダイヤルしてください。

こんなメッセージが表示された

■「発信音がありません。モデムがコンピュータと電話線に接続されているかどうかを確認してください。」と表示された

パソコンと電話回線が正しく接続されていない。

☞「■パソコンのモデムと電話回線が正しく接続されていない」74 ページ

外線(内線)発信の電話回線で使用している。

☞「■外線(内線)発信番号で接続できない」77 ページ

■「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません。」と表示された

パソコンと電話回線が正しく接続されていない。

☞「■パソコンのモデムと電話回線が正しく接続されていない」74 ページ

トーンまたはパルスの設定が間違っている。

☞「■ダイヤルのプロパティの設定が正しくない」77 ページ

■「回線はビジーです。」と表示された

電話回線が混雑している。

電話回線が混んでいる時間帯(23:00PM ～ 0:00AM 頃)には、電話回線に接続できないことがあります。何回か接続をやり直してください。それでもつながらない場合は、少し待って接続し直してください。
また、何度接続し直しても接続できないときは、アクセスポイントを変更してみる方法もあります。変更方法については、「電話番号が正しく入力されていない（☞75 ページ)」を参照してください。

トーンまたはパルスの設定が間違っている。

☞「■ダイヤルのプロパティの設定が正しくない」77 ページ

■「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。」と表示された

トーンまたはパルスの設定が間違っている。

☞「■ダイヤルのプロパティの設定が正しくない」77 ページ

■「モデムを検出できませんでした。モデムは使用中か、電源が入っていないか、または正しくインストールされていません。」と表示された

外付けモデムの電源が OFF になっている。

外付けモデムの電源を ON にし、パソコンを再起動してください。(USB 接続の場合を除く)

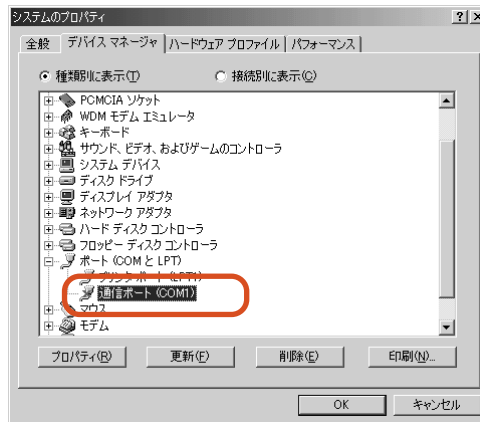
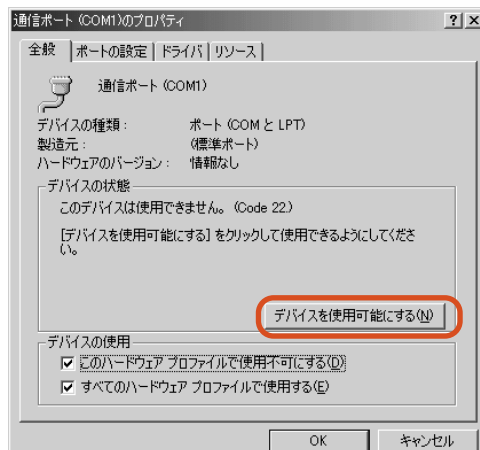
モデムとパソコンが正しく接続されていない。

☞「モデムと電話回線をつなぐ」18 ページ

パソコン側の接続先（ポート）の設定が間違っている。

以下の手順で、通信ポートの設定を確認・変更します。

①「モデムが正しく認識されていない（☞78 ページ)」の手順①から③を実行します。

② 通信ポートをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。

③ [全般]タブの画面で、「デバイスの状態」を確認します。
「このデバイスは使用できません。」と表示されている場合は、[デバイスを使用可能にする]ボタンをクリックします。

④ [OK]ボタンをクリックします。

■「応答なし。」と表示された

回線が 0 発信ではないのに、0 発信する設定になっている。

☞「ダイヤルのプロパティの設定が正しくない」77 ページ

トーン/パルスの設定が間違っている。

☞「ダイヤルのプロパティの設定が正しくない」77 ページ

アクセスポイントを間違えている。

通常の電話回線なのに、ISDN 用のアクセスポイントの電話番号に接続していませんか？「V.90、56Kbps」と表示されている電話番号を選択してください。アクセスポイントの電話番号については、プロバイダにお問い合わせください。電話番号の変更方法については、「電話番号が正しく入力されていない（☞75 ページ)」を参照してください。

■「ユーザー名またはパスワードが無効です」と表示された

ユーザー名またはパスワードが間違っている。

正しいユーザー名とパスワードを、プロバイダから郵送されてきた正式な文書でもう一度確認して、設定しなおします。電子メールの送受信用と、インターネットへの接続（ダイヤルアップ）用のものとは異なります。全角や半角、大文字や小文字の区別を確認してください。

■「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン/パルス、外線発信番号("0")の設定、ISDN 回線使用のお客様は、同期/非同期設定に誤りがあります。」と表示された

電話回線のトーン/パルスの設定や外線発信を使用するときの設定が間違っている。

☞「■ダイヤルのプロパティの設定が正しくない」77 ページ

ISDN 回線の同期/非同期の設定が間違っている。

同期/非同期の設定を確認します。

☞「同期/非同期の設定が間違っている」83 ページ

■「要求されたこの URL はオフラインでは利用できません。」と表示された

インターネットエクスプローラの［ファイル］→［オフライン作業］をチェックし、インターネットをオフラインで見ている（☞「一時ファイル」39 ページ）とき、ハードディスク上に保存されていないリンク先に移動しようとすると、表示されるメッセージです。インターネットに接続し、再アクセスしてください。

インターネットに接続しないときは、[オフライン継続]ボタンをクリックします。

■「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してください。」と表示された

ユーザー名(ID)かパスワードが間違っている。

☞『「ユーザー名またはパスワードが無効です」と表示された』（このページ）

ISDN ターミナルアダプタを使っていたら…

■「ダイヤル先のコンピュータが応答しません、接続のアイコンをダブルクリックしてやり直してください。」と表示された

同期/非同期の設定が間違っている。

① [スタート]ボタン→[設定]→[ダイヤルアップネットワーク]の順に選択します。
② (接続)アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
③ [接続の方式]欄にドライバが表示されます。

一般的に、「SYNC」は同期、「ASYNC」は非同期で設定します。
また、「128」とあれば128Kbps接続です。
これらの設定が接続するアクセスポイントと合っているか確認して、間違っていれば正しく設定し直してください。

アクセスポイントが間違っている。

ダイヤルアップネットワークで接続する直前に、IDとパスワードと電話番号が表示されます。この電話番号が正しいアクセスポイントの電話番号になっていないときは、設定し直してください。

■ISDN ターミナルアダプタで接続はできるが、Web ページが見られない

[ネットワーク]に「TCP/IP」が2つ以上登録されている。

原因は、ターミナルアダプタのドライバをインストールするたびに、「TCP/IP」が追加されることです。以下の手順で「TCP/IP …」の項目を1つにします。

① [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択します。
②【コントロールパネル】ウィンドウの[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。
③【ネットワーク】ウィンドウの[ネットワークの設定]タブをクリックします。
④ [現在のネットワークコンポーネント]欄に「TCP/IP …」の項目が2つ以上あるときは、削除する「TCP/IP …」の項目を選択して[削除]ボタンをクリックします。

パソコンをネットワークに接続しない場合は、[現在のネットワークコンポーネント]欄には、「Microsoft ファミリログオン」、「ダイヤルアップアダプタ」、「TCP/IP」の3つだけにしてください。

step 5 インターネットのQ&A

2 電子メールをやりとりしようとしたら…

「電子メールをうまく送れない」、「電子メールをうまく受けとれない」ときにお読みください。
電子メールを送受信するときに、インターネットに接続できないときは、「インターネットに接続しようとしたら…」74ページをお読みください。

電子メールをうまく送受信できない

■電子メールを送れない

電子メールの設定が間違っている。

電子メールソフトによって設定は異なります。設定が間違っていないか確認してください。
☞「オプションを設定する」56ページ

電子メールアドレスが間違っている。

送り先の電子メールアドレスをよく確認して、もう一度送信し直してください。
送り先に電子メールが届かなかったときは、「Mail Delivery Failed...User unknown」などの電子メールがプロバイダから返信されてきます。

同じ電子メールを何人もの相手に送信するときのメールアドレスの入力方法が間違っている。

アウトルックエクスプレスの場合、[宛先]、[CC]、[BCC]にメールアドレスを入力して、まとめて何人もの相手に電子メールを送ることができます。
アドレスとアドレスの間に「;」(セミコロン)を入力してください。その際、「;」セミコロンのあとにはスペースなどを入れないでください。

電子メールのサイズがプロバイダの送信できるサイズより大きい。

プロバイダによって、送信できる電子メールのファイルサイズは異なります。
添付ファイルを圧縮ツールなどを使って小さくしたあとで送ったり、何回かに分けて送ってください。メールサーバーの許容サイズについては、加入しているプロバイダにお問い合わせください。

用語

圧縮ツール、解凍ツール
ファイルのサイズを小さく圧縮したり、圧縮されているファイルを解凍する(元に戻す)ソフトウェアのことで、「WinZip」や「LHA」などがあります。Webページやパソコン雑誌の付録などで、シェアウェアやフリーウェアとして配布されています。

■添付ファイルを送れない

添付ファイルの名前が長い。

相手先が長いファイル名に対応していないことがありますので、添付するファイル名はなるべく8桁以内の半角英数字にしてください。

■受信した電子メールの添付ファイルがうまく開けない

添付ファイルが圧縮されている。

受信した添付ファイルが圧縮されているときは、ファイルを開けないことがあります。ファイルの拡張子が、「.lzh」や「.zip」などのときは、いったんハードディスクに保存したあとで、解凍ツールなどを使って解凍してください。

添付ファイルに対応したアプリケーションソフトがない。

添付ファイルに対応したアプリケーションソフトが、使用しているパソコンにインストールされていない場合はファイルを開くことができません。差出人にアプリケーションソフトを確認して、インストールしてください。

■アウトルックエクスプレスで電子メールを送受信するとインターネットの接続が切断される

インターネットに接続しているときに、アウトルックエクスプレスで電子メールを送受信しようとすると、インターネットの接続が切断されてしまうことがあります。
次の手順で設定を変更します。

① アウトルックエクスプレスの[ツール]→[オプション]の順に選択します。
② [接続]タブをクリックします。
③「送受信が終了したら切断する」のチェックを外します。
④ [OK]ボタンをクリックします。
☞「オプションを設定する」56ページ

「送受信が終了したら切断する」のチェックを外すと、送受信が終ってもインターネットの接続は切断されません。
接続している間は、電話料金とプロバイダのサービス料金がかかり続けています。切断忘れのないように、十分注意してください。

電子メールが文字化けする

■文字化けが起こる文字を使っている

半角のカタカナを使っている。

件名や本文に半角のカタカナを使うと、文字化けを起こすことがあります。
半角のカタカナは使用せずに、必ずカタカナや「｣｡､ ･は全角にしてください。

特殊な記号や漢字を使ってる。

件名や本文にシフト JIS 漢字コードの中の特殊な記号や漢字を使うと、送り先のパソコンによっては文字化けを起こすことがあります。
次のような文字は使わないでください。

・丸付き数字、ローマ数字 ……①、Ⅰなど
・元号、丸付き漢字、記号 ……㍻、№、㊤、㈱など
・単位表記 …………………kg、cmなど
・特殊な漢字

■相手の電子メールソフトの設定と異なっている

送り先の電子メールソフトがテキスト形式の電子メールしか読めない。

送り先の電子メールソフトが、HTML 形式の電子メールに対応していない場合、読みにくい電子メールになってしまいます。
電子メールの送信形式をテキスト形式にしてください。
☞「■送信する電子メールをテキスト形式にする」56 ページ

電子メールソフトが添付ファイルの変換方式に対応していない。

送受信した添付ファイルが、相手の電子メールソフトの変換方式と同じでないときは、文字化けになります。
相手の電子メールソフトの変換方式を確認してください。
アウトルックエクスプレスでは、「MIME 形式」と「UUENCODE 形式」に対応していますが、ご購入時には MIME 形式に設定されています。
「UUENCODE 形式」には、次の手順で変更します。

① アウトルックエクスプレスの[ツール]→[オプション]の順に選択します。
② [送信]タブをクリックします。
④ [メール送信の形式]欄の[テキスト形式の設定]ボタンをクリックします。
⑤「UUENCODE」を選択します。
⑥ [OK]ボタンをクリックします。
☞「オプションを設定する」56 ページ

用語集

インターネットに関連する用語を説明しています。

BCC
Blind Carbon Copy（ブラインド・カーボン・コピー）または Blind Courtesy Copy（ブラインド・コーテシー・コピー）
電子メールのメッセージを送信するに際して、その同じメッセージが他の誰宛てに送られたのかを受信者に知らせない機能。
→CC

bps
bits per second
通信速度の単位。例えば56Kbpsなら、1秒間に56,000ビットの情報を転送できることを表す。

CC
Carbon Copy（カーボン・コピー）または Courtesy Copy（コーテシー・コピー）
事務作業で使用するカーボン紙で書類のコピーをつくるように、電子メールのコピーを作成して1度に複数の人に送る機能。
→BCC

DSU
Digital Service Unit（デジタル・サービス・ユニット）
ISDN回線に、TA（ターミナル・アダプタ）などの通信機器を接続するための機器。最近では、DSUを内蔵しているTAやルータも増えてきている。
→ターミナル・アダプタ、ルーター

FAQ
Frequently Asked Questions（略称はエフ・エー・キュー）
「よく尋ねられる質問」という意味。
WebページにはFAQコーナーが設けられていることが多いので、サポート部署に電話する前にここを探してみるとよい。

FTP
File Transfer Protocol（ファイル・トランスファー・プロトコル）
インターネットを使ってファイルの転送（トランスファー）をするためのルールや規格（プロトコル）のこと。
インターネット上では、誰でもログインできる「anonymous FTP」サイトが公開されていて、自由にファイルをダウンロードすることができる。
→プロトコル

GIF
Graphics Interchange Format（略称はジフ）
カラーの静止画像の圧縮方式の1つ。256色しか表示できないが、完全に圧縮前の画像に戻せるという特徴がある。インターネットの標準静止画形式となっている。
→JPEG

HTML
Hyper Text Markup Language（ハイパー・テキスト・マークアップ・ランゲージ）
Webページを作成するときなどに使用されているプログラム言語のこと。

HTML形式
電子メールの書式の一種で、電子メールに文字飾りや画像が挿入できるが、受け取る側の利用しているソフトによっては、文字化けしたり、受取自体ができなくなることがある。この問題を避けるには、テキスト形式に設定する。
→HTML、テキスト形式、文字化け

HTTP
HyperText Transfer Protocol（ハイパーテキスト・トランスファー・プロトコル）
文字や画像を表示するようにというブラウザからの要求をWebサーバーに伝え、Webサーバーから提供されたページをブラウザに転送するためのルールや規格（プロトコル）のこと。
Webページのアドレスはたいてい「http://」で始まっているが、入力を省略してもよい。

IE

Internet Explorer（略称はアイ・イー）
→インターネット・エクスプローラ

ISDN

Integrated Services Digital Network（略称はアイエスディーエヌ）
「総合デジタル通信網」。電話・ファックス・画像データなどの情報をすべてデジタル化して扱うネットワークのこと。
→ターミナル・アダプタ

JPEG

Joint Photographic Experts Group（略称はジェイペグ）
カラーの静止画像の圧縮方式の１つ。GIF とは異なり、フルカラーで表示できるが、完全には圧縮前の画像に戻せない。
→ GIF

LAN

Local Area Network（ローカル・エリア・ネットワーク。略称はラン）
複数のコンピュータやプリンタなどを、比較的狭い範囲で接続し、データの共有ができるネットワークのこと。
→ネットワーク

POP

Post Office Protocol（略称はポップ）
電子メールを受信・保管・転送しているサーバー、および電子メールを送受信するためにサーバーに接続するクライアントが利用するルールや規格（プロトコル）のこと。

SMTP

Simple Mail Transfer Protocol（略称はエスエムティーピー）
１つのネットワーク上で、あるコンピュータから別のコンピュータにメッセージを送信するためのルールや規格（プロトコル）のこと。TCP/IP の一種。
→ TCP/IP

SSL

Secure Sockets Layer（略称はエスエスエル）
インターネット通信時のセキュリティとプライバシーを保護するルールや規格（プロトコル）のこと。クレジットカードの番号をインターネット通販で入力するときには、この SSL をサポートしているかどうかが重要になる。

TA

（略称はティ・エー）
→ターミナル・アダプタ

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（ティーシーピーアイピー）
ネットワーク（インターネットを含む）で通信する際に使用される最も基本的なプロトコルの集まり。
→プロトコル

URL

Uniform Resource Locator（ユーアールエル）
インターネット上のリソースのある場所を示すアドレスのこと。

Web サーバー

ブラウザ―から要求があったときに、HTML 文書や関連するファイルを提供するために HTTP を使用するサーバーソフトウェアのこと。HTTP サーバーともいう。
→ HTML、HTTP

Web サイト

互いに関連付けられた HTML 文書、ファイル、データベースなどの集まりのことで、HTTP サーバーによって WWW 上に提供されている。Web サイト中の HTML 文書がトピックをカバーし、ハイパーリンクで相互に関連付けられている。ほとんどの Web サイトには、出発点として「ホームページ」があり、それが目次の役割を果たしている。
「Web ページのある場所」という意味でも使用されている。
→HTML 、HTTP サーバー、ハイパーリンク、ホームページ

Web ブラウザ

HTML 文書を見たり、それに関連付けられたファイルにアクセスできるソフトウェアのこと。「閲覧ソフト」ともいう。インターネットエクスプローラとネットスケープナビゲータが有名。
→ HTML、インターネットエクスプローラ

Web ページ

WWW 上にある、相互にリンクされた文書のこと。
→ WWW

WWW

World Wide Web（ワールド・ワイド・ウェッブ）
世界中の HTTP サーバー上に存在する、相互に関連付けられたハイパーテキスト文書の総体。「世界的に(World)広がっている(Wide)クモの巣(Web)」と言う意味。

アイコン

ユーザーが操作できるもの（ファイルやプログラムなど）を象徴している小さな絵のこと。

アカウント

インターネットに接続するための権利もしくは資格のこと。プロバイダのメールサーバーに接続するための権利が「メールアカウント」である。権利もしくは資格があるかどうかは、正しいパスワードを知っているかどうかで判別される。
→パスワード

アクセス

インターネットや他のネットワーク、システムに接続すること。

アクセスポイント

インターネットに接続するときのプロバイダの接続場所のこと。

圧縮

ファイルのサイズを小さくすること。そのための無料ソフトがいくつか公開されている。電子メールに添付するファイルは、圧縮して送ると良い。

アップロード

自分のコンピュータ中のファイルのコピーを、モデムやネットワークを経由して、別のコンピュータに転送すること。
→ダウンロード

アドレス

インターネットやネットワーク上の特定のコンピュータや場所を指定する名前のこと。電子メールの話では、宛先を指定するコード（記号）のこと。

アドレス帳

メールアドレスや住所などの個人情報をまとめて登録しておく機能のこと。電子メールを新規に作成するときは、このアドレス帳から相手を選ぶと、メールアドレスが自動的に入力される。

アプリケーション

特定の作業を実行するために設計されたプログラムのこと。（例えば、Microsoft Word など）これに対して、もっと狭い範囲の問題を解決したり、システム管理に関連した問題を解決するためのプログラムをユーティリティと呼ぶ。

インターネット

世界的規模のネットワークの集合体。互いに通信するために TCP/IP というプロトコル（ルール、規約）を利用している。

インターネット一時ファイル

インターネットに接続したときに、ハードディスクに保存されたファイル（Web ページや画像など）のこと。以前アクセスしたことのある Web ページを、ユーザーが再度要求すると、Web ブラウザは実際にアクセスするのではなく、まずこのインターネット一時ファイルが残っていないかどうかを確認する。もし保存されていれば、それを画面上に表示することにより、高速化を実現している。保存されていなければ、実際にアクセスを開始することになる。

インターネットエクスプローラ

マイクロソフト社製の Web ブラウザ（閲覧ソフト）の名前。
→ Web ブラウザ

オートコンプリート
アドレスやパスワードを入力していると、以前入力したことのある同じような文字列の一覧を表示する機能のこと。一覧にあるときはそこから選択すれば、後の入力の手間が省ける。一覧を無視して入力し続けてもかまわない。

お気に入り
インターネットエクスプローラで、気に入ったページを登録しておく機能。アドレス（URL）を毎回入力する必要がなくなり、すばやくアクセスできる。

オフライン
通信回線を切断して、ネットワークに接続していない状態のこと。ネットサーフィン中にオフラインに切り替えると、その間は電話回線に接続していないことになり、オフライン中は電話代がかからない。プロバイダと従量制の支払契約を結んでいる場合に、接続サービス料が課金されるかどうかは、各プロバイダに問い合わせること。
→ネットサーフィン、オンライン

オンライン
ネットワークに接続している状態のこと。

オンラインサインアップ
インターネットに接続している状態で、プロバイダに加入の申し込み手続きをすること。

グループ
アウトルックエクスプレスで、複数の相手に同じ電子メールを同時に送信するための機能の一種。事前にアドレス帳に、グループ名とそのメンバーを登録しておく。
→アドレス帳

サーチ・エンジン
インターネット上のファイルや文書中のキーワードを捜し出してくれるプログラムのこと。

サーバ
クライアントからの要求に応じてサービスを行うコンピュータまたはプログラムのこと。

サイト
→Webサイト

削除済みアイテム
アウトルックエクスプレスで、削除した電子メールが保存されているフォルダ。

シェアウェア
インターネットやCD-ROMで配布されている、有料のソフトウェアのこと。
→フリーウェア

下書き
アウトルックエクスプレスで、作成途中の電子メールが保存されているフォルダ。

受信トレイ
アウトルックエクスプレスで、受信した電子メールが保存されているフォルダ。

スタートページ
インターネット・エクスプローラで、起動したときに最初に表示されるページのこと。ツールバーの[ホーム]ボタンをクリックすると、このスタートページに戻る。

専用線接続
インターネットに接続するための専用の通信回線で接続すること。ダイヤルアップ接続に比べて費用が高いが、通信速度は速い。
→ダイヤルアップ接続

送信済みアイテム
アウトルックエクスプレスで、送信した電子メールのコピーが保存されているフォルダ。

送信トレイ
アウトルックエクスプレスで、まだ送信されていない電子メールが保管されているフォルダ。作成済みの電子メールは、いったんこの送信トレイに保管され、[送受信]ボタンをクリックしたときに送信される。

ターミナル・アダプタ
ISDN回線でインターネットに接続するための装置。DSUと組み合わせて使用する。
→DSU

ダイアルアップ接続

インターネットに接続したいときのみアクセスポイントに電話をかけること。専用線接続に比べて費用は安いが、通信速度が遅い。

ダウンロード

モデムやネットワークを経由して、他のコンピュータに格納されているファイルのコピーを、自分のコンピュータに転送すること。
→アップロード

テキスト形式

電子メールの書式の一種で、電子メールに文字飾りや画像が挿入できない。
→ HTML 形式

電子メール

通信ネットワークを介してテキストメッセージやファイルをやり取りすること。またはそのメッセージ。

転送

1. アウトルックエクスプレスで、受信した電子メールを、その電子メールの送信者以外の人に送信すること。
2. 一般に、データをある場所から別の場所へ移動させること。

→返信

添付ファイル

電子メールに添付され、一緒に送信されるファイルのこと。

ドメイン

ネットワーク上の所属や範囲、領域のこと。インターネットでは、アドレス中のドメイン名のうち、一番上の階層区分（一番右側に表示されている）のこと。ソーテックの場合で説明すると、www.sotec.co.jp の中の「.jp」の部分。アドレスを所有している団体の種類（例えば.com なら、商業組織をあらわす）や、アドレスの地理上の場所（.jp は、日本をあらわす）を指定している。
→ドメイン名

ドメイン名

ネットワーク接続のアドレスのことで、そのアドレスの所有者を階層形式で表現している。ソーテックの場合で説明すると、www.sotec.co.jp の「www」はサーバーの名前、「sotec」は www という名前をサーバーにつけた組織の名前、「co」は組織の種類、「jp」は日本を表す。

ネットサーフィン

インターネット上に公開されている Web ページを、特定の目的を持たずに見てまわること。

ネットスケープナビゲーター

ネットスケープ社製の Web ブラウザ（閲覧ソフト）の名前。
→ Web ブラウザ

ネットワーク

通信設備で接続された、一群のコンピュータとその協同装置（プリンタなど）のこと。
→インターネット、LAN

ハイパーテキスト

ユーザーが関連項目を見てまわれる、複雑で非順序的な www の世界で相互にリンクされたテキストのこと。
→ハイパーリンク

ハイパーリンク

ハイパーテキスト文書中のある要素（語句・画像など）と、他の文書あるいは同一文書、ファイル中の他の要素との関係付けのこと。その部分をクリックすると、関連先に飛ぶことができる。略してリンクともいう。

パスワード

ユーザーが、ネットワークに対して自分の身元を明らかにするために入力する文字列（記号）のこと。

ブラウザ

→ Web ブラウザ

プラグイン

アプリケーションに、「音楽の再生」や「動画の再生」といった新たな機能を追加するためのソフトウェアのこと。

フリーウェア

インターネットや CD-ROM で配布されている、無料のソフトウェアのこと。
→シェアウェア

フレーム

Web ブラウザで表示されたページの、四角形で囲まれた部分のこと。そのページのほかの部分からは独立した HTML 文書になっている。例えば目次がフレームに入っていれば、絶えず目次を見ながら、次々に別の内容を画面に表示させることができる。
→ Web ブラウザ、HTML

プロトコル

コンピュータがお互いに接続でき、極力エラーを起こさずに情報をやり取りできるようにと設計された、一組の規則や規約のこと。インターネットで通信を行う場合のプロトコルは、TCP/IP。
→ TCP/IP

プロバイダ

インターネットに接続するサービスを提供している業者のこと。ユーザーは、プロバイダが用意したアクセスポイントに電話をかけて、インターネットに接続することになる。このサービスに対して支払う料金を、接続サービス料という。最近では、無料でインターネットに接続してくれるプロバイダも増えてきているが、その場合はインターネット接続中に、画面に企業の広告が表示される。

返信

アウトルックエクスプレスで、電子メールの送り主宛てに返事を出す機能のこと。

ホームページ

1.本来は、Web サイトの最初のページのこと。最近では、他のページもホームページと呼ぶ誤用がかなり広まってきている。
2.インターネットエクスプローラでは、起動したときに最初に表示されるページのこと。Web サイトのホームページと区別するため、スタートページともいう。
3.個人的な Web ページのこと。
→ Web サイト、スタートページ

メーリングリスト

1 つの名前の下にグループ化された名前と電子メールアドレスのリストのこと。また、電子メールの同報機能を利用して、あるグループ全体に同じ電子メールを送信する機能のこと。

メールサーバー

インターネット上で電子メールサービスを提供しているサーバーのこと。送信用を SMTP サーバー、受信用を POP3 サーバーと呼んでいるプロバイダが多い。

メールソフト

電子メールを送受信するためのアプリケーションのこと。メーラーともいう。

文字化け

送受信した文字が、本来意図されたものとは異なる文字として表示されること。インターネットエクスプローラでは、メニューバーの[表示]→[エンコード]で言語を変更すると、解決できることがある。アウトルックエクスプレスでは、テキスト形式で送信するようにし、受信メールが文字化けしていたときは、送信者に連絡して、テキスト形式に変更してもう一度送りなおしてもらうと良い。

モデム

一般の電話回線を使用してインターネットに接続するための装置で、電話回線で使用されるアナログ信号と、コンピュータ内部で使用されるデジタル信号を相互に変換する。

リンク

→ハイパーリンク

ルーター

インターネット上で、受け取ったデータを調べて、その正しい宛先に転送するための装置。

ログアウト

→ログオフ

ログイン

→ログオン

ログオフ

通信回線を介してアクセスしたコンピュータとのセッション（論理的な接続の開始から終了まで）を終了させるプロセスのこと。

ログオン

ユーザー名とパスワードで自分の身元を明らかにして、特定のコンピュータ、プログラム、ネットワークにアクセスすること。ログインともいう。

ワールド・ワイド・ウェブ

→ WWW

索　引

アルファベット

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

索引